



愛知・名古屋 2026 アジア競技大会 周波数申請ガイド

AINAGOC

Ver.01

2026/01

IMAGINE ONE ASIA
ここで、ひとつに。

愛知・名古屋 2026 アジア競技大会 周波数申請ガイド

Revision History

Version	Date	Description
1.0	January 2026	First issue

目 次

1.	はじめに.....	1
1.1	無線機器の使用.....	1
1.2	本文書の目的.....	1
1.3	無線機器の認可手続き	1
2.	無線周波数申請の手順.....	3
2.1	申請方法	3
2.2	周波数申請が必要な無線機器	3
2.3	日本における無線機器使用の基本ルール	3
2.4	無線周波数の申請と使用承認(仮承認)のタイムライン	4
2.5	結果通知・確認	5
2.6	仮承認状・確認	6
2.7	周波数申請が不要な無線機器	6
2.8	Tag 申請が必要な無線機器.....	7
3.	申請対象の無線システムと周波数帯域.....	9
3.1	無線システムと周波数帯域一覧	9
3.2	無線機器の実際の使用に関する注意事項.....	17
3.3	周波数申請シート一覧	26
4.	結果通知後に無線機器を使用するために必要なプロセス	28
5.	申請期間	30
5.1	通常申請(Normal Application)	30
5.2	追加申請(Additional Application).....	30
5.3	緊急申請(Extraordinary Application)	31
Appendix	32
1.	申請者情報(General Information sheet)	32
2.	申請書シートの種類	33
3.	Q&A.....	34
3.1	General Information(申請書)	34
Q1 :	“Nationality (1. Applicant Information)”	34
Q2 :	“Stakeholder Group (1. Applicant Information)”	34
Q3 :	“Organisation (1. Applicant Information)”	35
Q4 :	“Contact Name, Contact Name, Contact E-Mail, Contact Phone Number(1. Applicant Information)”	35

3.2 Type 別シート	36
Q5：“検査希望場所”欄.....	36
Q6：“検査可能日”欄.....	36
Q7：“使用場所”、“複数会場使用”欄.....	37
Q8：“装置組合の識別”欄	37
Q9：“製造会社””モデル名・型番”” 製造番号・シリアル番号”欄.....	38
Q10：“利用タイプ”欄.....	39
Q11：“使用希望周波数数”欄	40
Q12：“希望する送信周波数”欄	40
Q13：“希望する受信周波数の入力”欄.....	41
Q14：複数の周波数の使用	41
Q15：“送信周波数の設定可能範囲(MHz)”欄.....	42
Q16：“受信周波数の設定可能範囲(MHz)”欄.....	43
Q17：“変調方式”欄.....	43
Q18：“通信方式”欄.....	44
Q19：“チャンネル設定間隔(kHz)”欄.....	45
Q20：“占有周波数帯幅(kHz)”欄	45
Q21：“必要なガードバンドサイズ”欄.....	46
Q22：“希望最大送信出力(W)”欄.....	47
Q23：“外部アンテナ”欄.....	47
Q25：“外部アンテナ”“ゲイン”欄	48
Q26：“希望チャネル”欄.....	49
Q27：“規格”欄.....	49
Q28：日本の無線免許所有装置の周波数申請.....	49
Q29：“日本の無線局免許取得有無”欄	50
Q30：“技適マーク  “欄	50
Q31：技術基準適合証明制度	51
Q32：“Technical Conformity Mark :技適マーク()”	51
Q33：技適マーク()の場所.....	52
Q34：“Applicant’s Remarks(備考)”.....	52
3.3 無線機器	53
● ハンドヘルドラジオ.....	53
Q35：海外仕様のハンドヘルドラジオ[HR]).....	53
● DECT デバイス.....	54

愛知・名古屋 2026 アジア競技大会 周波数申請ガイド

Q36： 海外仕様の DECT デバイス.....	54
● ワイヤレスマイク	56
Q37： TV ホワイトスペース帯のワイヤレスマイク.....	56
Q38： マラソンコース、競歩コースでの使用	94
● ワイヤレスカメラ.....	94
Q39： 申請可能なワイヤレスカメラ.....	94
● 無線 LAN 帯域.....	95
Q40： 無線 LAN(Wi-Fi、Bluetooth)機器の使用.....	95
Q41： Wi-Fi ポリシー	96
Q42： 電波を発射しないモバイルルーターの利用.....	97
● ドローン	97
Q43： ドローンの利用	97
● ワイヤレスレリーズトリガー,ワイヤレスファイルトランシッター	97
Q44： ワイヤレスレリーズトリガーの利用	97
● RFID 帯	97
Q45： RFID 帯(920MHz)を使用する無線機器	97
3.4 周波数申請期間.....	99
Q46： 通常申請(Normal Application)期間	99
Q47： 追加申請(Additional Application)期間.....	99
Q48： 緊急申請(Extraordinary Application)期間	99
3.5 周波数申請フォームのファイルの扱い方	100
Q49： ファイル名.....	100
Q50： 入力欄.....	101
Q51： 入力欄(入力行).....	101

1. はじめに

1.1 無線機器の使用

第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)(以下「愛知・名古屋 2026 アジア競技大会」という。)は、2026 年 9 月 19 日~10 月 4 日までの間に開催されます。

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会(以下「組織委員会」という。)は、愛知・名古屋 2026 アジア競技大会の期間中、利用者が電波干渉なく効率的に無線機器を利用できるよう、免許手続きや無線機器の運用調整を行います。

1.2 本文書の目的

2025年 9 月には秩序ある周波数の利用促進を図ることを目的に「愛知・名古屋 2026 アジア競技大会周波数管理計画」を公表しました。「愛知・名古屋 2026 アジア競技大会周波数申請ガイド」は、愛知・名古屋 2026 アジア競技大会の会場内で無線機器を使用する際に必要な申請手続きについて、詳細な情報を発信することを目的としています。

1.3 無線機器の認可手続き

申請から無線機器の使用承認までにはいくつかのプロセスがあります。図1-1 については、無線局免許取得が必要な無線機器のプロセス項目と手順を示します。図 1-2 にあっては、無線局免許取得が不要な無線機器のプロセス項目と手順を示します。

会場内での無線機器の使用にあたっては、スペクトラムデスク(検査室)で検査を受けてから、承認ステッカー(Tag)を貼付した状態で使用していただく必要があります。

無線局免許の取得が必要な無線機器は、検査日が希望日時に予約できることがあります。検査を受けることができるよう使用希望日から余裕を持った日程でご準備ください。

既に日本の無線局免許をお持ちの無線機器を取得済みの場合や無線局免許を要しない無線機器(技適マークが表示されていることが必要)も、周波数

申請受付に周波数申請し、許可及び検査を受ける必要があります。

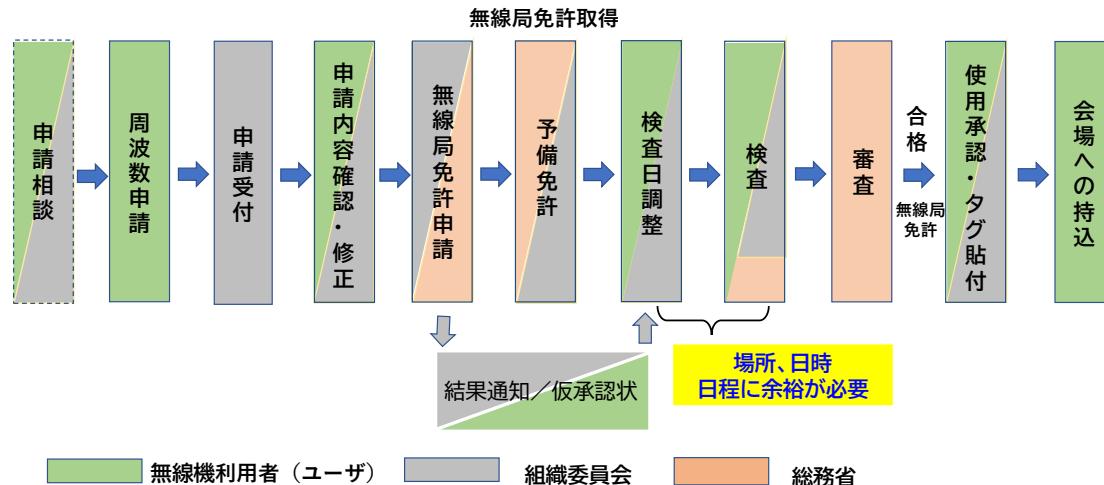


図1-1 無線局免許の取得が必要な無線機器のプロセス項目と手順

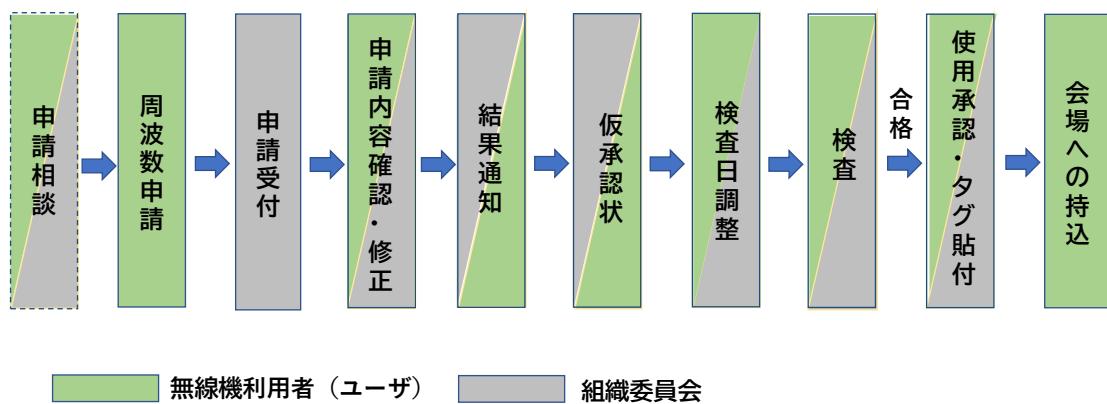


図1-2 無線局免許の取得が不要な無線機器のプロセス項目と手順

2. 無線周波数申請の手順

2.1 申請方法

周波数申請ポータル(Spectrum Order Portal)に必要事項を入力し、使用希望する無線機器の周波数を申請してください。

申請に必要な申請の方法は、「愛知・名古屋 2026 アジア競技大会周波数申請ポータル入力ガイド」をご参照ください。

なお、周波数申請ポータルによる周波数申請後、内容確認等のため、メールに周波数申請フォームを添付して連絡させていただく場合があります。

- 周波数申請受付事務局(Spectrum Application Desk)
applicaton@aichi-nagoya2026games.com

2.2 周波数申請が必要な無線機器

既に日本の無線局免許を取得している機器も含めて、電波を発射する無線機器は、すべて申請手続きが必要です。周波数申請ポータル(Spectrum Order Portal)を使用して周波数申請に必要な事項を入力し、提出する必要があります。(日本国内電気通信事業者が提供する携帯電話等を除く。(2.7 周波数申請が不要な無線機器をご参照))

組織委員会の許可を受けていない無線機器は、会場内に持ち込むことができません。また、他の無線機器に干渉した場合は、当該無線機器を特定し、会場から撤去します。日本の法令により罰則が科せられる場合もあります。

電波法令に違反すると、1年以下の拘禁刑又は100万円以下の罰金に処されることがあります。

2.3 日本における無線機器使用の基本ルール

日本国内で無線機器を使用するためには、原則として免許を取得する必要があります。

申請後に、以下の項目について確認します。

- 無線局免許や登録が必要な無線機器の場合は、既に取得済みであるか。
- 無線局免許の取得が必要な無線機器で取得済みでない場合、さらに以

下の項目について確認します。

- ・ 電波法に定める技術基準に適合していること。
- ・ 周波数割当ての実現可能性があること。
- ・ 総務省令で定める無線局の開設の基準に合致すること。

海外で利用されている無線システムの中には、使用周波数や機能が日本の技術基準に適合していないため、無線局免許を取得できないものがあります。(例:トランシーバー、DECT、RFID、Wi-Fi アクセスポイント)

日本の電波法に規定されている技術基準及びこの認証を受けた特定の無線機器は、簡単な免許手続きのみを必要とする場合や免許が不要な場合もあります。

この技術基準の適合を証明する基準認証制度があります。

技適マーク()は、無線機器が電波法に定める技術基準に適合していることを証明するマークで、個々の無線機器に付されています。

技適マーク()のない無線機器は、原則として免許手続きの対象となることから、通常申請期間中に申請し、無線局免許申請の手続きを実施する必要があります。

電波法で定められた技術基準(例:周波数、送信電力、占有周波数帯幅など)に適合し、周波数を割当ることができれば、新たに無線局免許を取得することができます。(仕様や設定など詳細を確認する必要があります。)

技術基準および技適マーク()については、Q30-Q33 もご参照ください。

2.4 無線周波数の申請と使用承認 (仮承認)のタイムライン

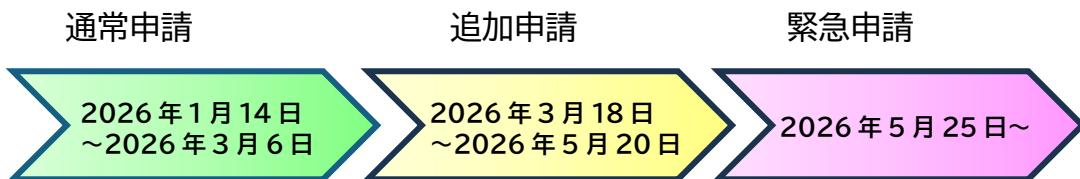
大会運営に支障が無いように周波数を割当てる必要があります。できるだけ早期に周波数申請又は申請相談を実施し、通常申請(Normal Application)期間となる 2026 年 3 月 6 日(金)JST23:59 までに周波数申請ポータル(Spectrum Order Portal)に必要事項を入力し、提出を完了するようお願いいたします。

通常申請(Normal Application)を過ぎると既に割当てが済んでいますので、利用が困難となる場合があります。

なお、無線局免許の取得が必要な無線機器は、総務省(総合通信局)との調整、無線局免許申請手続き、総合通信局での審査及び予備免許交付に数か月の期間が必要と想定されているため、通常申請(Normal Application)期

間を過ぎると原則として申請できません。

【周波数申請期間】



通常申請(Normal Application)

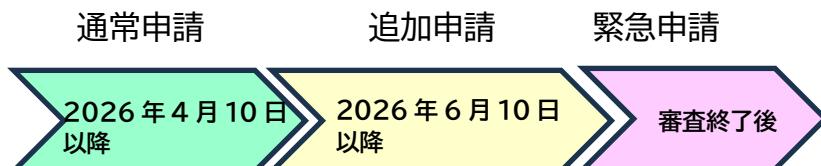
:すべての申請を受付け

追加申請(Additional Application)

:無線局免許不要の技術適合証明
取得済みの無線機器、無線局免許取得済みの無線機器

緊急申請(Extraordinary Application) :無線局免許取得済み又は技適マークのある無線局免許不要なもののみ受付け

【結果通知時期】



申請受付	申請受付期間(予定)	申請対象無線機器
通常申請	2026年1月14日～2026年3月6日	すべての無線機器 無線局免許取得が必要な無線機器は、通常申請期間に限る
追加申請	2026年3月18日～2026年5月20日	無線局免許不要の技術適合証明取得済みの無線機器 無線局免許取得済みの無線機器
緊急申請	2026年5月25日～	無線局免許不要の技術適合証明取得済みの無線機器 無線局免許取得済みの無線機器

2.5 結果通知・確認

周波数割当てが完了し利用が認められると、申請した無線機器毎の周波数割当ての結果(周波数の仮承認:Granted authorisation)のリストがメールで通知されます。メールが届きましたら、添付ファイルを開き、仮承認の結果をご確認ください。

2.6 仮承認状・確認

仮承認された無線機器は、検査予約開始前に無線機器毎の仮承認状がメールで通知されます。メールが届きましたら、添付ファイルを開き、仮承認状を確認して、検査予約の手続きを行ってください。

大会開催期間中(施設の管理期間を含む)、無線機器の利用(電波の発射)は、検査に合格し承認ステッカー(Tag)の貼付を受けてから可能になります。

免許取得のために新たに検査を受ける場合、受けたい方が集中することにより希望日に検査を受けることができない可能性があります。余裕をもって検査を受けられるようスケジュールの確保をお願いします。

検査日時の予約方法、検査場所などの無線検査及び承認ステッカー(Tag)に関する詳細情報は、後日発行されるテスト&タギングガイドをご参照ください。

2.7 周波数申請が不要な無線機器

無線機器を大会の会場内及び会場周辺などの管理エリア内で使用するためには、すべて組織委員会の承認が必要ですが、以下の無線機器は免除されます。

○ 携帯電話

日本国内の電気通信事業者が提供するサービスを使用する技適マーク()がある携帯電話。

入国の日から 90 日以内で、海外から持ち込んだ者が国際ローミング又は日本国内携帯電話事業者・BWA 事業者の SIM カード(eSIM 含む)を使用する携帯電話。

○ Bluetooth 端末(トランシーバー、ファイルトランスマッター等を除く)

Bluetooth 端末の利用は、BLE(Bluetooth Low Energy)規格のワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、ワイヤレスイヤフォン、携帯電話は、周波数申請不要で使用できますが、電波環境が悪いことが想定されますので、有線機器の利用をお勧めします。その他の機器の利用は、周波数申請受付にお問い合わせください。



Bluetooth ロゴ

海外から持ち込まれる携帯端末等の利用に関しては、下記もご参照ください。

「海外から持ち込まれる携帯電話端末・BWA 端末、Wi-Fi 端末等の利用」

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/inbound/>

「Use of Foreign Mobile Phones, Broadband Wireless Access (BWA) Devices, and Wireless LAN Devices Brought Into Japan」

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/others/inbound/index.htm>

2.8 Tag 申請が必要な無線機器

Tag 申請は、周波数申請フォームの該当する Tag シートに入力してください。

○受信機器(送信機器と誤認)

送信機能を有していないが、アンテナが取り付けられているなど送信機器と誤認する恐れのある受信機器は、周波数申請は不要ですが、持ち込み規制の対象となる無線機器と識別が困難であることから、承認ステッカー(Tag)の貼付のための申請をしてください。

周波数申請フォームの Tag-RX シートに入力して周波数申請受付に提出する必要があります。

○受信専用使用機器

送信機能を有しているが、送信機能を停止して受信専用機器として使用することが可能な Pocketwizard の特定のモデルは、周波数申請は不要ですが、持ち込み規制の対象となる無線機器と識別が困難であることから、承認ステッカー(Tag)の貼付のための申請をしてください。

周波数申請フォームの Tag-PW シートに入力して周波数申請受付に提出する必要があります。

○IP 無線機

技適マーク()が表示されている携帯電話サービスを使用する IP 無線機。周波数申請は不要ですが、持ち込み規制の対象となる無線機器との識別

が困難であることから、承認ステッカー(Tag)の貼付のための申請をしていただきます。

周波数申請フォームの Tag-IP シートに入力して周波数申請受付に提出する必要があります。

○ Wi-Fi モバイルルーター

Wi-Fi モバイルルーターの使用は、原則として大会運営に支障を与えることから禁止します。Wi-Fi 機能を停止して Wi-Fi 電波を発射しないで他の機器と有線で接続する場合に限り、使用を許可できる場合があります。

周波数申請フォームの Tag-MR シートに入力して周波数申請受付に提出する必要があります。

○ 携帯電話サービスを使用するワイヤレスカメラ

技適マーク()が表示されている又は入国の日から 90 日以内で、海外から持ち込んだ者が国際ローミング又は日本国内の携帯電話事業者・BWA 事業者の SIM カード(eSIM 含む)により使用する携帯電話サービスを使用する映像伝送装置は、承認ステッカー(Tag)の貼付のための申請をしていただきます。

大容量の伝送を行う機器は、他の携帯電話サービスを利用する機器への障害(輻輳など)を防ぐために、利用場所の制限や利用自体を禁止する場合があります。

周波数申請フォームの Tag-WC シートに入力して周波数申請受付に提出する必要があります。

○ 携帯電話サービスを使用するファイルトランスマッター

技適マーク()が表示されている又は入国の日から 90 日以内で、海外から持ち込んだ者が国際ローミング又は日本国内の携帯電話事業者・BWA 事業者の SIM カード(eSIM 含む)により使用する携帯電話サービスを使用するファイルトランスマッターは、Wi-Fi 機能を停止して Wi-Fi 電波を発射しないで他の機器と有線で接続する場合に限り使用を許可しますので、承認ステッカー(Tag)の貼付のための申請をしていただきます。

大容量の伝送を行う機器は、他の携帯電話サービスを利用する機器への障害(輻輳など)を防ぐために、利用場所の制限や利用自体を禁止する場合があります。

周波数申請フォームの Tag-FT シートに入力して周波数申請受付に提出する必要があります。

3. 申請対象の無線システムと周波数帯域

3.1 無線システムと周波数帯域一覧

表 3.1 に申請対象の無線システムと周波数帯域の一覧を示します。

無線局免許を取得済みの場合などで、入力にない無線システム及び周波数を使用される場合は、お問合せください。

ワイヤレスカメラなど使用可能な周波数の割当てがない場合は、総務省と周波数の割当て、無線局免許取得のための調整を行います。調整には数か月かかる場合がありますので、早めに周波数申請受付にご相談ください。

表 3.1 申請対象の無線システムと周波数帯域

無線システム	タイプ	周波数帯域(MHz)	最大出力(W)	最大占有周波数帯幅[BW](kHz) 送信電力の99%	備考
ワイヤレスカメラ [WC]	FPU(Field Pickup Unit) Microwave link *要無線局免許	1240-1260	25(フル) 12.5(ハーフ)	17,500(フル) 8,500(ハーフ)	無線局免許取得済み限る
		2330-2370	40 (フル) 20 (ハーフ)	17,500(フル) 8,500(ハーフ)	無線局免許取得済み限る
	ワイヤレスカメラ *要無線局免許	ご相談ください *使用周波数の調整等に数か月の期間が見込まれます			
Point to Point	*要無線局免許	18GHz 帯(a) 17.7-18.72GHz	ご相談ください *使用周波数の調整等に数か月の期間が見込まれます		
		18GHz 帯(b) 19.22-19.7GHz			
		80GHz 帯(a) 71.1922-76.197GHz			
		80GHz 帯(b) 81.38-86.385GHz			
ビデオリンク(免許不要局)		60GHz 帯 57-66GHz	10mW 以下 / 10mW を超え 250mW 以下	9GHz 以下	技適マーク(○) が付されている無線機器に限る

無線システム	タイプ	周波数帯域(MHz)	最大出力(W)	最大占有周波数帯幅[BW](kHz) 送信電力の99%	備考	
ワイヤレスマイク [WM]	アナログ A 型特定 ラジオマイク *要無線局免許	470-710 *Q37 TV ホワイトスペース周波数リストに掲載の会場の周波数帯の利用に限る。ロードレースのコース上の移動利用不可	0.01	110/160/330 250	原則としてデジタル方式を使用すること & 運用調整有	
	デジタル A 型特定 ラジオマイク *要無線局免許		0.05	288		
	アナログ A 型特定 ラジオマイク *要無線局免許	710-714 *携帯電話との運用調整有	0.01	110/160/330		
	デジタル A 型特定 ラジオマイク *要無線局免許		0.05	288		
ワイヤレスマイク [WM]	アナログ A 型特定 ラジオマイク *要無線局免許	1240-1260	0.05	288	原則としてデジタル方式を使用すること & 無線局免許取得済みに限る & 運用調整有	
	デジタル A 型特定 ラジオマイク *要無線局免許			600		
	D 型ラジオマイク 70MHz 帯	74.58-74.76	0.01	60	技適マーク(○) が付されている無線機器に限る & 同時利用 最大3波	
	C 型ラジオマイク 322MHz 帯	322.025-322.150	0.001	30		
		322.250-322.400				
	アナログ B 型ラジオマイク (800MHz 帯)	806.125-809.750	0.01	110	原則としてデジタル方式を使用すること & 技適マーク(○) が付されている無線機器に限る	
	デジタル B 型ラジオマイク (800MHz 帯)			192		
	DECT 方式	DECT 方式トーカバック(インターラム)参照 使用不可			技適マーク(○) が付されている無線機器に限る	
	Wi-Fi 方式	Wireless LAN [WLAN]参照 使用不可			技適マーク(○) が付されている無線機器に限る	

無線システム	タイプ	周波数帯域(MHz)	最大出力(W)	最大占有周波数帯幅 [BW](kHz) 送信電力の 99%	備考
トークバック システム (インターカム) [INT]	デジタルコードレス 方式、 DECT 方式以外の 特定の周波数を占 有して使用する トークバック *要無線局免許	142-144	1-5	12.5 (又はチャネル幅 20)	総務省による割 当てが可能な周 波数に限る *使用周波数の調 整等に数か月の 期間が見込まれ ます
		146-162.0375			
		360-390			
		400-420			
		440470			
	デジタル電話方式 トークバック	1893.650-1905.950 (42 波:うち制御キャリア 2 波)	0.01	288	技適マーク(○) が付されている 無線機器に限る
ランドモバイル ラジオ [LM] ハンドヘルドラジ オ (トランシーバー) [HR]	DECT 方式トーク バック (インターカム)	1885.248, 1886.976, 1888.704, 1890.432, 1892.160, 1893.888, 1895.616, 1897.344, 1899.072, 1900.800, 1902.528, 1904.256 *使用周波数は指定不可	0.007	1728	J-DECT 規格準 拠 & 技適マーク(○) が付されている 無線機器に限る 一部の周波数に 限り使用できる 装置があること に注意
		142-144			
		146-162.0375			
		360-390			
		400-420			
		440470			

無線システム	タイプ	周波数帯域(MHz)	最大出力(W)	最大占有周波数帯幅 [BW](kHz) 送信電力の 99%	備考
ランドモバイルラジオ [LM] ハンドヘルドラジオ(トランシーバー) [HR]	アナログ簡易無線 (免許局) *要無線局免許	154.45-154.61	5	16	技適マーク(○)が付されている無線機器に限る & 無線局免許取得済みに限る
	デジタル簡易無線 (免許局) *要無線局免許	154.44375- 154.55625 465.096875- 465.090625 467.0-467.4	5	5.8	
	デジタル簡易無線 (登録局) *要登録	351.03125-351.1 351.2-351.63125 351.100625- 351.19375	5 上空 1	5.8	
ハンドヘルドラジオ (トランシーバー) [HR]	特定小電力トランシーバー	422.04-422.35	0.01	8.5	技適マーク(○)が付されている無線機器に限る
	2.4GHz 帯 Wi-Fi	2400-2483.5	0.01/1MHz	20,000	技適マーク(○)が付されている無線機器に限る
	2.4GHz 帯 Bluetooth	2400-2483.5	0.1 (Class 1) 0.01 (Class 1.5) 0.025 (Class 2) 0.001 (Class 3)	1,000 2,000(BLE)	技適マーク(○)が付されている無線機器に限る

無線システム	タイプ	周波数帯域(MHz)	最大出力(W)	最大占有周波数帯幅 [BW](kHz) 送信電力の99%	備考
テレメトリ・テレコマンド [TC]	*要無線局免許	138-144	250 μ W 以下 (e.i.r.p)	ご相談ください	総務省による割当てが可能な周波数に限る *使用周波数の調整等に数か月の期間が見込まれます
		146-170			
		170-225			
		335.4-380.2			
		381.4-402			
		406.1-420			
		420-430			
		440-470			
		915-930			
		2483.5-2497			
426MHz 帯	312MHz 帯	デジタル方式 312-315.05	250 μ W 以下 (e.i.r.p)	1,000	技適マーク(○) が付されている無線機器に限る
		デジタル方式 312.05-315.25			
		デジタル方式 ・チャネル間隔:6.25kHz 426.028125- 426.134375 ・チャネル間隔:12.5kHz 462.025-426.1375 ・チャネル間隔:25kHz 426.0375-426.1125	0.1 1筐体に収められない場合は、0.001637	5.8/8.5/16	技適マーク(○) が付されている無線機器に限る
429MHz 帯		デジタル方式 ・チャネル間隔:6.25kHz 429.178125- 429.734375 ・チャネル間隔:12.5kHz 429.175-429.7375	1 1筐体に収められない場合は、0.01637	5.8/8.5	技適マーク(○) が付されている無線機器に限る

無線システム	タイプ	周波数帯域(MHz)	最大出力(W)	最大占有周波数帯幅[BW](kHz) 送信電力の99%	備考
		デジタル方式 ・チャネル間隔:6.25kHz 429.815625- 429.921875 ・チャネル間隔:12.5kHz 429.8125-429.925			
	449MHz 帯	デジタル方式 ・チャネル間隔:6.25kHz 449.840625- 449.884375 ・チャネル間隔:12.5kHz 449.8375- 449.8875	1 1筐体に収められない場合は、0.01637	5.8/8.5	技適マーク(㊂)が付されている無線機器に限る
	469MHz 帯	デジタル方式 469.4-469.5	1	5.8/8.5	技適マーク(㊂)が付されている無線機器に限る
	920MHz 帯	デジタル方式 915.9-928.1 デジタル方式 920.5-928.1 デジタル方式 928.1-929.7	0.001 0.02 0.001	100/200/ 400/600/ 800/1000 100/200/ 400/600/ 800/1000 100/200/ 300/400/ 500	技適マーク(㊂)が付されている無線機器に限る
	1.2GHz 帯(a)	デジタル方式 ・チャネル間隔:12.5kHz 1216.00625- 1216.99375 ・チャネル間隔:25kHz 1216.0125- 1216.9875 ・チャネル間隔:50kHz 1216-1217	1 1筐体に収められない場合は、0.01637	8.5/16/ 32	
	1.2GHz 帯(b)	デジタル方式 1252-1253	1 1筐体に収められない場合は、0.01637	8.5/16/ 32	

無線システム	タイプ	周波数帯域(MHz)	最大出力(W)	最大占有周波数帯幅 [BW](kHz) 送信電力の 99%	備考
ワイヤレスリードトリガー プレス利用限定	2.4GHz 帯 Wi-Fi	2400-2483.5	0.01/1MHz	20,000	技適マーク(※) が付されている 無線機器に限る
	2.4GHz 帯 Bluetooth	2400-2483.5	0.1 (Class 1) 0.01 (Class 1.5) 0.025 (Class 2) 0.001 (Class 3)	1,000 2,000(BLE)	技適マーク(※) が付されている 無線機器に限る
	920MHz 帯	デジタル方式 915.9-928.1	0.001	100/200/ 400/600/ 800/1000	技適マーク(※) が付されている 無線機器に限る
	Pocketwizard FCC model	344.04	0.001	840	CE Model は、 使用不可
ワイヤレスファイ ルトランスマッタ ー	Wi-Fi	無線 LAN [WLAN]参照			インフラストラク チャーモード (Slave モード) での使用に限る & 技適マーク(※) が付されている 無線機器に限る
	携帯電話	日本の携帯電話回線			
無線 LAN [WLAN] Wi-Fi ポリシー に従う	2.4GHz 帯	2400-2497	0.01/1MHz	26000	技適マーク(※) が付されている 無線機器に限る
	5.2GHz 帯 W52 *屋内利用限定	5150-5250	0.01/1MHz	19000 (20MHz)	技適マーク(※) が付されている 無線機器に限る
	5.3GHz 帯 W53 *屋内利用限定	5250-5350	0.01/1MHz	19000 (20MHz)	技適マーク(※) が付されている 無線機器に限る
	5.6GHz 帯 W56	5470-5730	0.01/1MHz	19700 (20MHz)	技適マーク(※) が付されている 無線機器に限る

無線システム	タイプ	周波数帯域(MHz)	最大出力(W)	最大占有周波数帯幅 [BW](kHz) 送信電力の 99%	備考
	6GHz 帯	5945-6425	0.01/1MHz	19000 (20MHz)	*Low Power Indoor (LPI): Not available *Very Low Power (VLP): available 技適マーク(※)が付されている無線機器に限る
	26GHz 帯	24770-25230	0.01/1MHz		技適マーク(※)が付されている無線機器に限る
	60GHz 帯	57000-66000	10mW 以下 / 10mW を超え 250mW 以下	9000	技適マーク(※)が付されている無線機器に限る
衛星通信 [SNG][ME]	使用システムによる				日本国内で通信事業を実施している企業のサービス利用に限る
原則禁止	73MHz 帯等	ご相談ください	500m の距離において、電界強度が $200\mu\text{V}/\text{m}$ 以下		技適マーク(※)が付されている無線機器に限る
	920MHz 帯	デジタル方式 920.5-928.1	0.02	100/200/ 400/600/ 800/1000	機体の登録、飛行許可・承認申請、操縦者技能証明が必要な場合があります。
	2.4GHz 帯	2400-2497	0.01/1MHz	26000	
	169MHz 帯 *要無線局免許	169.12-169.32 169.9	0.01 1(地上発射)	100	電波利用の運用調整が必要です。
	2.4GHz 帯 *要無線局免許	2483.5-2494	1	4500/9000	機体の登録、飛行許可承認申請、操縦者技能証明が必要です。
	5.7GHz 帯 *要無線局免許	5650-5755	1	4500/9000/ 19700	
	その他	ご相談ください			
その他	UWB 等	ご相談ください			

グレーハッシュの項目は、原則利用が認められません。

3.2 無線機器の実際の使用に関する注意事項

無線機器の実際の使用に関する注意事項は以下のとおりです。

- ワイヤレスカメラ[WC]
 - ・ ワイヤレスカメラは、原則として RHB のみが申請ができます。
 - ・ できるだけ有線カメラを使用し、競技運営に支障が出る場合など有線カメラを使用するのが本当に難しい場合にのみワイヤレスカメラをご使用ください。
 - ・ 海外からワイヤレスカメラを持ち込み使用する場合は、無線局免許の取得が必要となること、使用可能な周波数帯が限られることから、周波数申請前に、周波数申請受付に利用可否および利用条件を確認してください。(既に、無線局免許取得済みである場合を除く。)
 - ・ 他のワイヤレスカメラやシステムとの干渉を防止するため、使用する場合は高性能 RF フィルタをご使用ください。
 - ・ 利用可能な周波数帯は、周波数申請受付までお問合せください。
 - ・ 新たに無線局免許の取得が必要な場合は、周波数の割当てには、数か月程度の期間を要することが想定されることから、通常申請締切りの 2026 年 3 月 6 日よりもできるだけ早期に周波数申請してください。
 - ・ 希望周波数の割当てができない場合があります。代替周波数などの調整が可能な場合は、調整の連絡をしますので、希望周波数の変更に対応できるようにしてください。
 - ・ 新たに無線局免許の取得が必要な場合は、周波数申請時に隣接するシステムとの必要なガードバンド幅、外部アンテナ、受信機の情報提出が必要になります。
 - ・ ワイヤレスカメラコントロールが必要な場合は、ワイヤレスカメラとの組み合わせ情報の提出が必要になります。
 - ・ 携帯電話のシステムに干渉する可能性があるため、携帯電話基地局や観客席から適切な距離を確保してください。
 - ・ 委託業務で 1.2GHz 帯、2.3GHz 帯の FPU を使用する場合は、無

線局免許人による運用調整団体での運用調整が必要となりますので、業務委託先に運用調整もご依頼ください。競技会場内は、周波数申請受付で周波数の配置を調整します。

- FPU、携帯回線のみ使用するワイヤレスカメラ以外は、周波数申請フォームの Type A-WC シートを使用して周波数申請してください。
- FPU は、周波数申請フォームの Type A-FPU シートを使用して周波数申請してください。
- 携帯回線のみ使用するワイヤレスカメラは、周波数申請フォームの Tag-WC シートを使用して周波数申請(Tag 申請)してください。

○ Point to Point

- 周波数申請時には、送信と受信の場所、外部アンテナ、受信機の情報提出が必要になります。
- 新たに無線局免許の取得が必要な場合は、周波数の割当てには、数か月程度の期間を要することが想定されることから、通常申請締切りの 2026 年 3 月 6 日よりもできるだけ早期に周波数申請してください。
- Wi-Fi 方式以外の Point to Point は、周波数申請フォームの Type B シートを使用して周波数申請してください。
- Wi-Fi 方式の Point to Point は、周波数申請フォームの Type C-PTP シートを使用して周波数申請してください。

○ ワイヤレスマイク [WM]、インイヤーモニタ [IEM]

- できるだけ有線マイクを使用し、競技運営に支障が出る場合など有線マイクを使用するのが本当に難しい場合にのみワイヤレスマイクをご使用ください。
- 海外から持ち込む場合など、技適マーク()が付されていない装置を使用する場合は、無線局免許が必要です。
- 470~710MHz の TV ホワイトスペース帯、1.2GHz 帯を使用する場合は、無線局免許の取得が必要です。
- 470~710MHz の TV ホワイトスペース帯、1.2GHz 帯を使用する場合は、無線局免許人による運用調整団体での運用調整が必要となりますので、免許人が運用調整を行ってください。なお、レンタルや業

務委託する場合は、原則としてレンタル事業者又は委託業務先に運用調整をご依頼ください。

- 470～710MHz の TV ホワイトスペース帯、1.2GHz 帯を使用する場合は、周辺の利用者と運用調整により使用が認められることから、承認された施設以外及び期間外での使用はできませんので注意してください。
- 470～710MHz の TV ホワイトスペース帯では、特定の周波数チャンネルのみを使用できます。ワイヤレスマイクの TV ホワイトスペース帯で利用可能な周波数は、会場毎で異なります。使用可能な周波数の詳細については、Q37:TV ホワイトスペース帯のワイヤレスマイクをご参照ください。ロードレース会場など、施設外のコース上で使用することはできません。
- Q37:TV ホワイトスペース帯のワイヤレスマイクのリストには、会場毎名称に下部に(屋内)、(屋外)の表示があります。屋外は、屋内を含みます。(屋内)と表示されている会場では、屋外での使用はできません。
- 練習会場等、添付 TV ホワイトスペース周波数リストに掲載されていない、場所での使用は原則として許可されません。
- ワイヤレスマイク/インイヤーモニタは屋外での使用は極力避けてください。
- デジタル方式のワイヤレスマイク/インイヤーモニタは、干渉に対してアナログ方式より耐性があると考えられていること、チャンネルあたり使用本数を増やせること、3次相互変調による周波数配置の制限を低減できることから、原則としてデジタル方式の装置を申請してください。アナログ方式の装置は、デジタル方式の配置調整後に配置が可能な場合のみ使用を許可します。
- ワイヤレスマイク/インイヤーモニタが 710-714MHz の周波数を使用する場合は、携帯電話のシステムに干渉する可能性があるため、できるだけ使用は避けてください。使用する場合は、携帯電話の基地局や観客席から適切な距離を確保してください。
- 送信電力は、470～710MHz TV ホワイトスペース帯のアナログ方式

ワイヤレスマイクは最大出力が 10mW 以下、デジタル方式ワイヤレスマイクは 50mW 以下に制限されています。デジタル方式のワイヤレスマイクを 10mW 以下で使用する場合は、使用可能な周波数はアナログ方式と同じ周波数となり、デジタル方式と比較して配置可能な周波数帯は増加します。

- 800MHz 帯のワイヤレスマイクは、最大出力が 10mW 以下に制限されています。
 - 800MHz 帯のワイヤレスマイクは、会場外で一般使用されている場合がありますので、干渉影響を容認の上、ご使用ください。
 - 周波数配置には、使用する受信システムも関係することから周波数申請には、受信システムの情報もご提出ください。使用場所、ワイヤレスマイクは受信装置の設置場所、イヤーモニタは送信装置の設置場所の情報もご提出いただく場合があります。
 - 無線 LAN 帯域、DECT 方式を使用するワイヤレスマイクは、他システムで優先的に使用することから、使用を許可できません。
 - 周波数申請フォームの Type A-WM シートを使用して周波数申請してください。
- トーカバックシステム(インターラム)[TB]
- 400MHz 帯などのランドモバイルラジオ [LM]、ハンドヘルドラジオ(トランシーバー) [HR]を組合わせて使用する場合は、無線局免許の申請が必要になります。
 - DECT 方式のトーカバックシステムは、J-DECT 方式の技適マーク(○)が付されている装置の申請に限定されます。日本で使用できる DECT システムは、Q36:海外仕様の DECT デバイスをご参照ください。
 - デジタルコードレス方式のトーカバックシステムは、技適マーク(○)が付されている装置の申請に限定されます。
 - 新たに無線局免許の取得が必要な場合は、周波数の割当てには、数か月程度の期間を要することが想定されることから、通常申請締切りの 2026 年 3 月 6 日よりもできるだけ早期に周波数申請してください。(DECT 方式、デジタルコードレス方式を除く。)

- 送信電力は 1W 以下が適切です。特別な場合でも 5W を超えないようにしてください。(DECT 方式、デジタルコードレス方式を除く。)
 - 新たに無線局免許の取得が必要な場合は、周波数申請時に外部アンテナ、受信機の情報提出をご提出ください。(DECT 方式、デジタルコードレス方式を除く。)
 - 送受信システムとして利用することから、送信周波数と送信機、受信システムと受信機の組合せの情報提出が必要になります。また、送信周波数と受信周波数の離隔周波数の制限事項がある場合は、条件をご提出ください。(DECT 方式、デジタルコードレス方式を除く。)
 - 希望周波数の割当てができない場合があります。代替周波数などの調整が可能な場合は、調整の連絡をしますので、希望周波数の変更に対応できるようにしてください。(DECT 方式、デジタルコードレス方式を除く。)
 - DECT 方式のトーカバックは、使用周波数の指定ができないこと、アンテナシステムの配置などのシステム構築を一元管理する必要があることから、組織委員会で取りまとめますので周波数申請前に周波数申請受付にご相談ください。
 - デジタルコードレス方式のトーカバックは、DECT 方式のトーカバックと同一周波数帯を使用することから、利用調整が必要となります。周波数申請前に周波数申請受付にご相談ください。
 - DECT 方式とデジタルコードレス方式以外は、周波数申請フォームの Type A-TB シートを使用して周波数申請してください。
 - DECT 方式とデジタルコードレス方式は、周波数申請フォームの Type A-DECT-TB シートを使用して周波数申請してください。
- ランドモバイルラジオ [LM]、ハンドヘルドラジオ（トランシーバー）[HR]（一般業務用無線、簡易無線、特定小電力無線、IP 無線など）
- 海外から持ち込む場合など、技適マーク(○)が付されていない装置を使用する場合は、無線局免許が必要です。(既に、無線局免許取得済みのものを除く)
 - 新たに無線局免許の取得が必要な場合は、周波数の割当てには、数か月程度の期間を要することが想定されることから、通常申請締切りの 2026 年 3 月 6 日よりもできるだけ早期に周波数申請してください。

- 希望周波数の割当てができない場合があります。代替周波数などの調整が可能な場合は、調整の連絡をしますので、希望周波数の変更に対応できるようにしてください。
 - 海外で販売されている FRS(Family Radio Service)、GMRS (General Mobile Radio Service)、PMR446 (Private Mobile Radio, 446 MHz)、UHF-CB(UHF-Citizen's Band Radio)、PRS(Personal Radio Service)など、特定の周波数値のみの電波発射を設定できない場合は、無線局免許の取得ができないことから、周波数申請することができません。
 - 海外から持ち込むトランシーバーのうち、利用可能周波数や方式が日本国内の技術基準に合致しない機器は、無線局免許の取得ができません。日本国内での簡易無線や特定小電力無線機器のレンタルやスマートフォン等を利用することを推奨します。
 - 送信電力は 1W 以下が適切です。特別な場合でも 5W を超えないようしてください。
 - 日本国内で利用を許可されている特定小電力無線や簡易無線は、大会関係者以外の一般の方々も使用されていますので、混信の可能性があることに注意してください。
 - 簡易無線(免許局、登録局)、携帯電話回線を使用する IP 無線機以外は、周波数申請フォームの Type A シートを使用して周波数申請してください。
 - 簡易無線(免許局、登録局)は、周波数申請フォームの Type A-CR シートを使用して周波数申請してください。
 - 携帯電話回線を使用する IP 無線機は、周波数申請フォームの Tag-IP シートを使用して周波数申請(Tag 申請)してください。
- テレメトリ・テレコマンド [TC]
- テレメトリ・テレコマンドを含む小容量のデータ伝送は、ワイヤレスカメラの制御、競技用の計測記録システム、審判用無線、ドローンの制御、セレモニー等の演出、物販の POS システムほか、多種多様の利用が見込まれます。使用するシステムや周波数帯によって、利用条件が異なることから、周波数申請前に周波数申請受付にご相談ください。
 - 海外から持ち込む場合など、技適マーク(○)が付されていない装置

を使用する場合は、無線局免許が必要です。(既に、無線局免許取得済みのものを除く。)

- RFID で使用している周波数帯は、使用する国によって使用可能な周波数帯が異なります。表 3.1 申請対象の無線システムと周波数帯域に入力されている周波数以外を使用することはできません。
 - 新たに無線局免許の取得が必要な場合は、周波数の割当てのための調整には、数か月程度の期間を要することが想定されることから、通常申請締切りの 2026 年 3 月 6 日よりもできるだけ早期に周波数申請してください。
 - ワイヤレスカメラコントロール以外は、周波数申請フォームの Type A シートを使用して周波数申請してください。
 - ワイヤレスカメラコントロールは、周波数申請フォームの Type A-WC シートを使用して、ワイヤレスカメラと組合わせて周波数申請してください。
- ワイヤレスレリーズトリガー
- ワイヤレスレリーズトリガーは、プレスとしての権利を獲得した場合のみ申請を受付けます。
 - Wi-Fi 方式、Bluetooth 方式のワイヤレスレリーズトリガーは、使用することはできません。
 - 920MHz 帯の RFID システムを利用したワイヤレスレリーズトリガーは、周波数申請フォームの Type A シートを使用して、テレメトリ・テレコマンド[TC]のシステムで周波数申請してください。
 - PocketWizard については、CE モデルを使用することができません。FCC モデルのみが無線局免許の取得により使用することが可能です。

使用可能なチャネルは、Standard(legacy)チャネルのみになります。E release model や E release firmware に upgrade している場合は、Standard(legacy)モードに設定を変更することで使用することができます。

- Pocketwizard の FCC モデルのうち、特定のモデルは受信専用のモード設定により電波発射を停止することができます。受信専用設定

で使用する場合は、無線局免許申請は不要になり、検査も不要となります(Tag 申請していただきます。)。

- Pocketwizard の送信機能を使用する場合は、周波数申請フォームの Pocketwizard シートを使用して、周波数申請してください。
- Pocketwizard の送信機能を停止して電波発射を行わずに使用する場合は、周波数申請フォームの Tag-PW シートを使用して、周波数申請(Tag 申請)してください。

○ ワイヤレスファイルトランスマッター

- カメラ本体及び外付けの Wi-Fi を使用したワイヤレスファイルトランスマッターは、インフラストラクチャーモード(Slave モード)でのみ使用することができます。
- カメラ本体及び外付けの Wi-Fi を使用したワイヤレスファイルトランスマッターは、周波数申請不要ですが、使用にあたってはフォトオペレーションチームから使用許可を得て Tag を貼付してもらうことが必要になります。
- ワイヤレスファイルトランスマッターのうち携帯電話回線を使用できるモデルは、Wi-Fi 機能を停止して、携帯電話回線のみで使用する場合は、使用することができます。
- ワイヤレスファイルトランスマッターのうち携帯電話回線を使用できるモデルは、周波数申請不要ですが、使用にあたってはフォトオペレーションチームから使用許可を得て Tag を貼付してもらうことが必要になります。

○ 無線 LAN [WLAN]

- 無線 LAN は、下記の条件に限ってアクセスポイント機能を使用することができます。
 - ✓ Wi-Fi ポリシーで使用を許可された周波数(チャネル)
Wi-Fi ポリシーは、Q41:Wi-Fi ポリシーとはどのようなものですか をご参照ください。
 - ✓ 計時計測用途
 - ✓ 競技運営用途(得点システムなど)
 - ✓ その他組織委員会が許可する用途(HB, RHB などブロードキャ

（ストコンパウンド利用）

- ・ 海外から持ち込む場合など、技適マーク(○)が付されていない装置は、使用できません。
 - ・ 無線 LAN(Wi-Fi, Bluetooth 含む)の申請は、周波数申請フォームの Type C シートを使用して、周波数申請してください
 - ・ Wi-Fi mobile router(ポケット Wi-Fi, mifi など)の Wi-Fi 機能の使用は、前述の許可条件以外で使用することができませんが、Wi-Fi 機能を停止して電波発射をせず、他の端末と USB 等で有線接続する場合に限り、使用を許可します。
 - ・ Wi-Fi 機能を停止して携帯回線のみ利用する場合は、周波数申請フォームの Tag-MR シートを使用して周波数申請(Tag 申請)してください。
- 衛星通信[SNG][ME]
- ・ 既に日本国内で通信事業を行っている企業のサービスを利用し、使用する衛星や使用する周波数帯の利用の条件は、それら企業が通常のサービスとして現に提供しているメニューを利用してください。
 - ・ Starlink などの携帯移動衛星地球局を使用する場合は、海外から持ち込む場合など、技適マーク(○)が付されていない装置を使用することはできません。
 - ・ 周波数申請フォームの Type B シートを使用して、周波数申請してください。
- ドローン
- ・ ドローンの利用は、組織委員会又は組織委員会から許可を得た場合にのみ周波数申請を受付けます。
 - ・ 無線局免許が不要な周波数を使用する場合、技適マーク(○)が付されていない装置は使用できません。
 - ・ 無線局免許が必要な周波数を使用する場合は、原則として技適マーク(○)が付されている装置を使用してください。
 - ・ 無線 LAN システムと共に用いている周波数帯は、組織委員会の Wi-Fi ポリシーに合致した利用方法のみ周波数申請を受付けます。

- 周波数申請以外に各種手続きが必要となりますので、担当 FA と確認およびご相談ください。機体の登録、飛行許可・承認申請、操縦者技能証明が必要な場合があります。こちらの手続きは、周波数申請の範囲外となりますので、申請者が手続きを行ってください。
 - 周波数申請フォームの Type D シートを使用して、周波数申請してください。
- その他
- その他のシステムを使用する場合は、周波数申請前に周波数申請受付にご相談ください。
 - UWB 等の特殊なシステムを使用する場合は、無線局免許を取得済みの装置を使用するようにしてください。無線局免許の取得が必要な場合は、調達先で無線局免許を取得するようにしてください。
 - 速度測定器(レーダー等)は、原則として、無線局免許取得済み又は原則として技適マーク(○)が付されている装置を使用するようにしてください。

3.3 周波数申請シート一覧

表 3.2 に周波数申請シート一覧を示します。

適した周波数申請シートを使用して申請していただきます。

表 3.2 周波数申請シート一覧

Type A	Land mobile radio [LM] Handheld radios (walkie-talkie) [HR] *Expect CR:kani-handhekd radio Telemetry and telecommand [TC] *Expect Wireless Camera Control	車載又は固定のトランシーバー[LM] トランシーバー、業務用無線[HR] *簡易無線(免許局、登録局)以外 テレメトリー・テレコマンド、RFID[TC] *ワイヤレスカメラコントロール以外
TypeA-WC	Wireless camera [WC] *Expect FPU Telemetry and telecommand [TC]	ワイヤレスカメラ[WC] *FPU 以外 ワイヤレスカメラコントロール[TC]
TypeA-WM	Wireless microphone [WM] In-ear monitor system [IEM]	ワイヤレスマイク[WM] インイヤーモニター[IEM]
TypeA-CR	Handheld radios (Kan-I) [HR-CR]	簡易無線(免許局、登録局)[HR-CR]

Type A-TB	Talkback (Intercom) [TB]([LM][HR]) *Except DECT/Digital cordless	トークバック、インターラム[TB]([LM][HR]) *DECT/デジタルコードレス方式以外
Type A-DECT-TB	DECT/Digital Cordless Talkback (Intercom) [TB-JDECT]	J-DECT/デジタルコードレス方式のトークバック/インターラム[TB-JDECT]
Type A-FPU	Wireless Camera[WC-FPU] FPU	FPU(日本方式)[WC-FPU]
Type B	Microwave fixed link [FL]	固定マイクロ波回線[FL]
	Microwave mobile link [ML]	移動マイクロ波回線[ML]
	satellite mobile earth station[SNG]	衛星移動地球局[SNG]
	mobile satellite earth station [ME] *Starlink など	携帯移動衛星地球局[ME]*Starlink など
Type C	Wi-Fi(Access Point) [WLAN-AP]	Wi-Fi アクセスポイント[WLAN-AP]
	Wi-Fi(Slave, infrastructure mode) [WLAN-S]	Wi-Fi 端末(子機、アクセスポイントに接続)[WLAN-S]
	Bluetooth [BT]	Bluetooth[BT]
Type C-PTP	Wi-Fi(Point to Point) [WLAN-PTP]	データ伝送用の無線 LAN システム[WLAN-PTP]
Type C-WRT	Wireless release Trigger(2.4GHz band)[WLAN-WRT]	ワイヤレスリリーズトリガー(2.4GHz 帯)[WLAN-WRT]
Type D	Drone(Control)[DR]	ドローン(制御)[DR]
	Drone(Video Transmit)[DR]	ドローン(映像伝送)[DR]
Pocketwizard	Wireless release Trigger(Pocketwizard) FCC model[PW]	ワイヤレスリリーズトリガー(Pocketwizard) FCC モデル[PW]
Tag-RX	Receive Only	受信専用(送信機と類似形状)
Tag-PW	Pocketwizard Receive Only use	Pocketwizard 受信専用
Tag-IP	IP Handheld radio (Cellular line usage)	IP 無線機(携帯電話回線利用)
Tag-MR	Mobile router with Wi-Fi disabled (Cellular line usage)	Wi-Fi 停止利用のモバイルルーター(携帯電話回線利用)
Tag-WC	Wireless Camera (Cellular line usage)	携帯電話回線利用のワイヤレスカメラ
Tag-FT	File Transmitter(Cellular line usage)	携帯電話回線利用のファイルトランスマッター

4. 結果通知後に無線機器を使用するためには必要なプロセス

結果通知後に実際に無線機器を使用する前に、申請者は以下の手続きを行い、「承認ステッカー(Tag)」を受け取る必要があります。

無線局免許を取得する無線機器と組織委員会の検査対象の無線機器とプロセスが異なります。

詳細は、後日公開するテスト&タギングガイドをご参照ください。

(1) 仮承認状確認

仮承認状は、申請された無線システム毎に通知されます(結果通知の1行に相当)。

検査が必要な場合は、検査に必要な時間の見込みが入力されています。

(2) 検査日時予約

検査の実施日時(必要な時間の見込み時間分)を予約します。

無線機器を使用するよりも前に検査を受ける必要があります。

無線局免許の取得が必要な場合は、検査予約日時が希望通りにできないことがありますので、余裕を持った検査予定(使用希望日から 7 日程度前)を検討してください。

周波数申請時に、検査を受ける予定会場、検査を受けることができる予定の情報を周波数申請フォームに入力してください。

(3) 無線機器の検査

対象無線機器および財団から指定された検査に必要な機器を予約した検査場所に持ち込みます。

原則として、持ち込み者に無線機器の電波発射や周波数設定の操作をしていただきます。

無線機器を預けて検査するなどの特別な検査方法に関しては、後日公開するテスト&タギングガイドに公開します。

(4) 無線機器へのタギング

検査合格により「承認ステッカー(Tag)」を受け取ります。

検査合格後直ちに、「承認ステッカー(Tag)」をお渡しします。

無線機器に「承認ステッカー(Tag)」を貼付します。

(5) 会場への無線機器の持ち込み

(6) 会場での無線機器の使用

5. 申請期間

5.1 通常申請(Normal Application)

申請期間:2026年1月14日(水)～2026年3月6日(金)

結果通知:2026年4月10日(金)以降

申請条件等:

- 希望の周波数が割当てられる可能性が高くなります。
 - 大会運営に必要な組織委員会申請を優先して周波数を割当てますが、組織委員会内で使用する希望周波数が同じ場合など、調整していただくことがあります。
 - 新たに無線局免許の取得が必要な無線機器の周波数申請は、この申請期間に限定されます。
 - 無線局免許の取得が必要な無線機器は、総務省の周波数割当て検討が必要となることから、異なる周波数に調整していただくことがあります。
- また、調整に時間を要することから、結果通知が申請から数か月後になる場合があります。

5.2 追加申請(Additional Application)

申請期間:2026年3月18日(水)～2026年5月20日(水)

結果通知:2026年6月10日(水)以降

申請条件等:

- 無線局免許を所有している無線機器又は技適マーク(○)がありかつ無線局免許が不要な無線機器に限ります。
- 無線局免許が必要な無線機器は、使用する周波数帯の調整に相当の時

間を要し、大会終了までに最終承認を得て新たな免許を取得する見込みがないため、お受けできません。必ず通常申請期間中に申請してください。

- 通常申請(Normal Application)の割当て後そのため、希望の周波数が割当てられる可能性は低くなります。
- 希望の周波数が割当てられない場合など、許可が認められない場合があります。

5.3 緊急申請(Extraordinary Application)

申請期間:2026年5月25日(月)~

結果通知:審査終了後

申請条件等:

- 無線局免許を所有している無線機器又は技適マーク(○)がありかつ無線局免許が不要な無線機器に限ります。
- 希望の周波数が割当てられない場合など、許可が認められない場合があります。
- 使用する周波数(チャンネル)の配置調整や運用調整が必要な、ワイヤレスマイク、ワイヤレスカメラ、利用調整が必要なトークバックなどの無線機器は、審査に日数を要することから、利用希望には間に合わない場合があります。

スペクトラムデスクでの臨時申請受付期間は、以下のとおりです。

なお、受付期間は、会場によって異なる場合や、変更になる場合があります。

- 受付期間 :2026年8月31日(月)~2026年10月4日(日)
- スペクトラムデスク設置予定場所
 - 名古屋市瑞穂公園陸上競技場
 - 東京アクアティクスセンター(アジア競技大会実施期間のみ)
 - 伊豆ベロドローム
 - 長居陸上競技場(アジア競技大会実施期間のみ)
 - 名古屋市国際展示場[ポートメッセなごや]交流センター
 - ガーデンふ頭

Appendix

1. 申請者情報(General Information sheet)

General Information シートの申請者情報の入力項目は、以下のとおりです。

表 1 申請者情報

アイテム	内容
Nationality 国名	申請者（組織）の登録国 ドロップダウンリストから選択してください
Stakeholder Group ステークホルダーカテゴリー	申請者のステークホルダーグループ 申請者の業務カテゴリー(RHB、Media など) ドロップダウンリストから選択してください
Organisation 組織名	申請者の組織名又は企業名を入力してください。
Contact Name 申請者氏名	申請者氏名を入力してください。
Contact Email 申請者電子メールアドレス	申請者のメールアドレスを入力してください。
Contact Phone Number 申請者電話番号	申請者の電話番号を入力してください。

2. 申請書シートの種類

周波数申請フォームの使用するシートは、無線機器の種類によって決まります。周波数申請を必要とする各無線機器と、それに対応する無線機器タイプは、表 3.2 周波数申請シート一覧を参考にしてください。

3.Q&A

3.1 General Information(申請書)

Q1：“Nationality (1. Applicant Information)”

1. Applicant Information の「Nationality」欄はどのように入力すればよいですか？

A1：

組織が所在する国又は地域の名前を入力します。「Nationality」は、ドロップダウンリストから選択できます。LOC の業務利用の場合は、"Japan(JPN)"を選択してください。

1. Applicant Information	
Nationality	Japan
Stakeholder Group	RHB
Organisation	AZB Broadcast
Contact Name	愛知 太郎
Contact E-Mail	Tro_Aichi@azb.jp
Contact Phone Number	090-0123-4567

Q2：“Stakeholder Group (1. Applicant Information)”

1. Applicant Information の「Stakeholder Group」欄はどのように入力すればよいですか？

A2：

所属するカテゴリー名を入力してください。「Stakeholder Group」は、ドロップダウンリストから選択できます。該当する「Stakeholder Group」がない場合は、直接入力できます。

例：

1. Applicant Information	
Nationality	Japan
Stakeholder Group	RHB
Organisation	AZB Broadcast
Contact Name	愛知 太郎
Contact E-Mail	Tro_Aichi@azb.jp
Contact Phone Number	090-0123-4567

Q3 : “Organisation (1. Applicant Information)”

1. Applicant Information の「Organisation」はどのように入力すればよいですか？

A3 :

申請者の所属する組織名又は企業名を入力してください。

1. Applicant Information	
Nationality	Japan
Stakeholder Group	RHB
Organisation	AZB Broadcast
Contact Name	愛知 太郎
Contact E-Mail	Tro_Aichi@azb.jp
Contact Phone Number	090-0123-4567

Q4 : “ Contact Name 、 Contact Name, Contact E-Mail, Contact Phone Number(1. Applicant Information)”

1. Applicant Information の「Contact Name」,「Contact E-Mail」,「Contact Phone Number」はどのように入力すればよいですか？

A4 :

周波数申請担当者の情報を入力してください。

1. Applicant Information	
Nationality	Japan
Stakeholder Group	RHB
Organisation	AZB Broadcast
Contact Name	愛知 太郎
Contact E-Mail	Tro_Aichi@azb.jp
Contact Phone Number	090-0123-4567

3.2 Type 別シート

Q5 : "検査希望場所"欄

周波数申請シートの「検査希望場所」欄は、どのように入力すればよいですか？

使用場所 (ドロップダウンリストから選択)	使用イベント (ドロップダウンリストから選択)	競技名 (ドロップダウンリストから選択)	希望使用期間 (ドロップダウンリストから選択)		検査希望場所 (ドロップダウンリストから選択)	検査対応 可能開始日 (ドロップダウンリストから選択)	スペクトラムサービス (ドロップダウンリストから選択)
			使用開始日 [dd-mm]	使用終了日 [dd-mm]			
(MPA)名古屋市瑞穂公園陸上競技場	全てのイベント		2026年9月18日	2026年10月14日	(MMC)メインメディアセンター	2026年9月1日	

A5 :

ドロップダウンリストから検査を受ける検査場所の希望を選択してください。

「使用会場」欄は、特定の日時だけ検査室を開設する場合の参考にいたします。

選択した検査場所は、検査場所として確定するのものではなく、申請者に対して「結果通知」で仮の許可をお知らせした後、さらに申請者に送付される「仮承認状」の情報を使用して、検査予約していただくことによって確定します。

Q6 : "検査可能日"欄

周波数申請シート「検査可能日」欄は、どのように入力すればよいですか？

A6 :

「検査可能日」欄は、検査に受けることができる見込まれる一番早い日付をドロップダウンリストから選択してください。

無線局免許の取得が必要な無線機器は、検査を受けた後で使用許可(電波発射許可)が得られるまでに数日(土日祝を除く)程度必要となる見込みであること、希望者の日時が集中する可能性がありますので、できるだけ余裕を持った日程にしてください。

使用場所 (ドロップダウンリストから選択)	使用イベント (ドロップダウンリストから選択)	競技名 (ドロップダウンリストから選択)	希望使用期間 (ドロップダウンリストから選択)		検査希望場所 (ドロップダウンリストから選択)	検査対応 可能開始日 (ドロップダウンリストから選択)	スペクトラムサービス (ドロップダウンリストから選択)
			使用開始日 [dd-mm]	使用終了日 [dd-mm]			
(MPA)名古屋市瑞穂公園陸上競技場	全てのイベント		2026年9月18日	2026年10月14日	(MMC)メインメディアセンター	2026年9月1日	

Q7：“使用場所”、“複数会場使用”欄

「使用場所」と「複数会場使用」は、どのように入力すればよいでしょうか？

A7：

使用する会場名をドロップダウンリストから選択します。

原則として、ドロップダウンリストに掲載されていない会場で使用することはできません。

使用するすべての会場を無線機器のモデルごとに入力する必要があります。

「複数会場使用」は、同一装置を異なる会場でも使用する場合に“✓”を選択してください。

さらに、「Applicant's Remarks(備考)」に同一装置であることを判別できるように、“Device A-1”、“Device A-2”、“Device B-1”、…のように識別目安を入力してください。

使用場所 (ドロップダウンリストから選択)	使用イベント (ドロップダウンリストから選択)	スペクトラムサービス (ドロップダウンリストから選択)	製造会社	モデル名 型番	使用台数	製造番号 シリアル番号	複数会場使用 複数会場で同一装置を使用する場合 は ✓を選択	装置組合の識別 ドロップダウンリストから選択
(SKE-B) 愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo] (Skateboarding)	全てのイベント	ワイヤレスカメラ(出力0.5W以下) [WC]	VISLINK	L1700 750-6875	2	abc0010,abc0011	✓	System 01
(SKE-C) 愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo] (Cycling BMX Freestyle)	全てのイベント	ワイヤレスカメラ(出力0.5W以下) [WC]	VISLINK	L1700 750-6875	2	abc0120,abc0302	✓	System 02
(SKE-B) 愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo] (Skateboarding)	全てのイベント	400MHz帯ワイヤレスカメラコントロール[TC]	VISLINK	FCDT-ASSY-7008	2	fcd0123,fcd0144	✓	System 01
(SKE-C) 愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo] (Cycling BMX Freestyle)	全てのイベント	400MHz帯ワイヤレスカメラコントロール[TC]	VISLINK	FCDT-ASSY-7008	2	fcd0400,fcd0800	✓	System 02

Q8：“装置組合の識別”欄

「装置組合の識別」は、どのようなときに入力しますか？

A8：

「装置組合の識別」は、異なる装置を組合せて使用する場合に、組合せる装置を示すために使用します。

例えば、ワイヤレスカメラとワイヤレスカメラコントロールのように、組合せて使用する機器を明示するときに入力します。

組合せて使用する装置を System 01 のように同じ識別をドロップダウンリストから選択します。

使用場所 (ドロップダウンリストから選択)	使用イベント (ドロップダウンリストから選択)	スペクトラムサービス (ドロップダウンリストから選択)	製造会社	モデル名 型番	使用台数	製造番号 シリアル番号	複数会場使用 複数会場で同一装置を使用する場合は、を選択	装置組合の差別 (ドロップダウンリストから選択)
(SKE-B)愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo](Skateboarding)	全てのイベント	ワイヤレスカメラ(出力0.5W以下)[WC]	VISLINK	L1700 750-6875	2	abc0010,abc0011	✓	System 01
(SKE-C)愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo](Cycling BMX Freestyle)	全てのイベント	ワイヤレスカメラ(出力0.5W以下)[WC]	VISLINK	L1700 750-6875	2	abc0120,abc0302	✓	System 02
(SKE-B)愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo](Skateboarding)	全てのイベント	400MHz帯ワイヤレスカメラコン-トロール[Tc]	VISLINK	FCDT-ASSY-7008	2	fc0123,fc0134	✓	System 01
(SKE-C)愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo](Cycling BMX Freestyle)	全てのイベント	400MHz帯ワイヤレスカメラコン-トロール[Tc]	VISLINK	FCDT-ASSY-7008	2	fc0400,fc0080	✓	System 02

Q9：“製造会社””モデル名・型番”” 製造番号・シリアル番号”欄

「製造会社」、「モデル名・型番」、「製造番号・シリアル番号」は、何を入力すればよいでしょうか？

A9：

「製造会社」欄は、銘板やユーザースマートガイド(取扱説明書)などに入力されている会社名を入力してください。

「モデル名・型番」欄は、使用する無線機器のモデル名又は型番を入力します。製品本体に表示されているモデル名は、製品シリーズ名を表している場合が多いため、銘板に入力されている具体的なモデル名を入力してください。

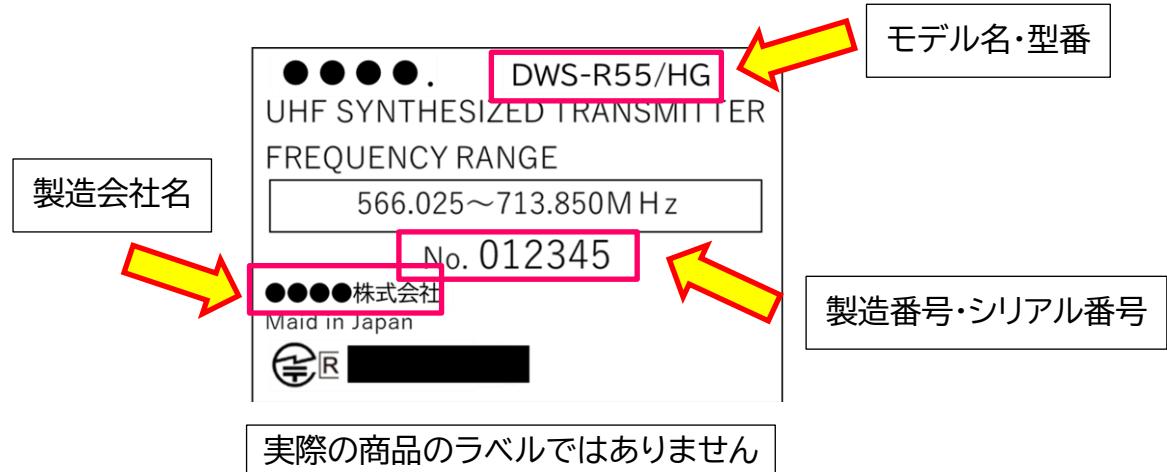
モデル名や型番は、使用可能な帯域又は地域の仕様を示している場合があります。銘板に入力されているすべての名称(例:DWS-R55/HG)を転記してください。

空白、脱落、又は誤りがある場合には、検査時に割当てられた周波数を設定できないなどの問題が発生し、無線局免許では検査不合格になり使用許可が取り消される可能性があります。

トランシーバーなど取り外し可能なバッテリーがある製品は、モデル名や型番が表示されている銘板が、バッテリーを外した装置内に表示されている場合があります。

使用する無線機器を変更する場合は、結果通知後に機種変更や周波数変更を行った場合は、再度無線周波数申請処理を行う必要があり、新規申請扱いとなりますので、注意してください。

銘板の写真又はモデル名と型番が入力されている部分の写真を添付のうえ、ご提出してください。申請時には、誤りを防ぐために必ず銘板の写真を添付してください。



Q10 : “利用タイプ”欄

申請書の「利用タイプ」欄には何を入力すればよいですか？

A10 :

装置を利用する環境や設置タイプをドロップダウンリストから選択してください。

「移設可」は、固定設置で利用する無線機器を、大会期間中に会場内で設置場所を移設して使用する場合に選択してください。

利用タイプ (ドロップダウンリストから選択)	使用希望 周波数数	希望送信周波数 (MHz) (中心周波数値)	送信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帶 幅(kHz)	必要なガード バンドサイズ (kHz)	希望最大送信 出力(W)	変調方式 (無線局免許取得済 みの場合は不要)
可搬(ポータブル)／室内	2	7137, 7189	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	7170, 7181	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	449.625, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	450.325, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]

Q11：“使用希望周波数数”欄

申請書の「使用希望周波数数」欄に何を入力すればよいですか？

A11：

(a)複数台の同一モデルのデバイス(ワイヤレスマイク、簡易無線など)が、複数の周波数のいずれかを使用する場合、(b)1台のデバイスが複数の周波数を同時に使用する場合は、同一モデルのデバイスで送信を希望する周波数の数を入力します。(b)の場合は、加えて「Applicant's Remarks(備考)」に”同時送信 n 波”(n は整数)と入力してください。

複数の周波数の入力方法については、「Q14:複数の周波数の使用」をご参照ください。

同一のデバイスであっても、周波数の組み合わせを指定したい場合や条件がある場合、使用する周波数が異なる場合は、別の行に分離してそれぞれ入力してください。

利用タイプ (ドロップダウンリストから選択)	使用希望 周波数数	希望送信周波数 (MHz) (中心周波数値)	送信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帶 幅(kHz)	必要なガード バンドサイズ (kHz)	希望最大送信 出力(W)	変調方式 (無線局免許取得済 みの場合は不要)
			最小周波数値	最大周波数値					
可搬(ポータブル)／室内	2	137, 7189	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	170, 7181	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	49.625, 49.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	50.325, 49.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]

Q12：“希望する送信周波数”欄

申請書の「希望する送信周波数」欄は、どのように入力すればよいですか？

A12：

希望する送信周波数(中心周波数)を MHz 単位で入力してください(例 571.5MHz の場合は、571.5 と入力してください)

複数の周波数を使用する場合は、カンマ(,)で区切って入力してください(例:571,571.5)

なお、利用者間で周波数を共有し、周波数(チャンネル)の固定利用が難しい無線機器や Tag 申請対象無線機器は、シートに、希望する送信周波数の欄が無い場合があります。

利用タイプ (ドロップダウンリストから選択)	使用希望周波数	希望送信周波数 (MHz) (中心周波数値)	送信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帶 幅(kHz)	必要なガード バンドサイズ (kHz)	希望最大送信 出力(W)	変調方式 (無線局免許取得済 みの場合は不要)
			最小周波数値	最大周波数値					
可搬(ポータブル)／室内	2	7137, 7189	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	7170, 7181	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	449.625, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	450.325, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]

Q13：“希望する受信周波数の入力”欄

申請書の「希望する受信周波数」欄は、どのように入力すればよいですか？

A13：

受信周波数の希望がある場合には、希望する受信周波数(中心周波数)を MHz 単位で入力してください(例 423.54375MHz の場合は、423.54375 と入力してください)。

トーバックシステムなど複数の周波数を組み合わせて使用する場合の入力方法は、”Q14:複数の周波数の使用”をご参照ください。

送信周波数と受信周波数が同一の場合は、入力せずに空欄でかまいません。

希望送信周波数 (MHz) (中心周波数値)	希望受信周波数 (MHz) (中心周波数値)	送信周波数の設定可能範囲(MHz)		受信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帶 幅(kHz)	希望最大送信 出力(W)
		最小周波数値	最大周波数値	最小周波数値	最大周波数値			

Q14：“複数の周波数の使用”

トーバックなどで異なる周波数で送信する複数のデバイスを組み合わせて使用する場合は、どのように入力すればよいですか？

A14：

Type A-TB シートのハンドヘルドと車載器など複数の無線機器を組み合

わせて使用する場合など、異なる周波数で送信する複数のデバイスを組み合わせて使用するシステムは、Q8：“装置組合の識別”の欄を参考にして、組み合わせシステムを明示してください。さらに、送信する周波数と受信する周波数の関係に制限(例:送受信周波数差:5MHz 以上 10MHz 以下)がある場合などは、「Applicant's Remarks(備考)」に条件を入力してください。

なお、周波数と装置の関係が複雑な場合など、接続系統を示した図のご提出をお願いする場合があります。

通信方式 (ドロップダウンリストから選択)	変調方式 (ドロップダウンリストから選択)	希望受信周波数(MHz) (中心周波数値) *複信方式(Duplex)は記入	受信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帯 幅(kHz)	希望最大送信 出力(W)
			最小周波数値	最大周波数値			

Q15：“送信周波数の設定可能範囲(MHz)“欄

申請書の「送信周波数の設定可能範囲(MHz)」欄は、何を入力すればよいですか？

A15：

無線機器の仕様書、データシート、ユーザーマニュアル(取扱説明書)などに
入力されている、送信周波数の設定可能範囲(中心周波数)を下限には低い周
波数値を、上限には高い周波数値を MHz 単位で入力してください。

利用タイプ (ドロップダウンリストから選択)	使用希望 周波数数	希望送信周波数 (MHz) (中心周波数値)	送信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帯 幅(kHz)	必要なガード バンドサイズ (kHz)	希望最大送信 出力(W)	変調方式 (無線局免許取得済 みの場合は不要)
			最小周波数値	最大周波数値					
可搬(ポータブル)／室内	2	7137, 7189	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	7170, 7181	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	449.625, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	450.325, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]

Q16：“受信周波数の設定可能範囲(MHz)”欄

申請書の「受信周波数の設定可能範囲(MHz)」欄は、何を入力すればよいですか？

A16：

無線機器の仕様書、データシート、ユーザーマニュアル(取扱説明書)などに入力されている、受信周波数の設定可能範囲(中心周波数)を下限には低い周波数値を、上限には高い周波数値を MHz 単位で入力してください。

ワイヤレスマイクロフォンなどの受信機能が無い無線機器や送受信周波数が同一となっている無線機器は、空欄でかまいません。

希望送信周波数 (MHz) (中心周波数値)	希望受信周波数 (MHz) (中心周波数値)	送信周波数の設定可能範囲(MHz)		受信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帶 幅(kHz)	希望最大送信 出力(W)
		最小周波数値	最大周波数値	最小周波数値	最大周波数値			

Q17：“変調方式”欄

「変調方式」欄には何を入力すればよいですか？

A17：

デバイスのスペックシート、データシート、ユーザーマニュアル(取扱説明書)などに入力されている変調項目を入力してください。

変調方式は、ドロップダウンリストから選択できます。該当する変調方式がリストにない場合は、直接入力することもできます。

何を入力すればよいかわからない場合は、周波数申請受付にご相談ください。

無線局免許の取得が必要な無線機器の場合は、無線局免許申請に必要な情報となりますので、スペックシートやデータシート、ユーザーマニュアルなどの資料の提出を別途要請させていただきます。

利用タイプ (ドロップダウンリストから選択)	使用希望 周波数数	希望送信周波数 (MHz) (中心周波数値)	送信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帯 幅(kHz)	必要なガード バンドサイズ (kHz)	希望最大送信 出力(W)	変調方式 (無線局免許取得済 みの場合は不要)
			最小周波数値	最大周波数値					
可搬(ポータブル)／室内	2	7137, 7189	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	7170, 7181	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	449,625, 449,775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	450,325, 449,775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]

Q18：“通信方式”欄

「通信方式」欄には何を入力すればよいですか？

A18：

デバイスのスペックシート、データシート、ユーザーマニュアル(取扱説明書)などに入力されている通信方式の項目を入力してください。

通信方式は、ドロップダウンリストから選択できます。該当する通信方式がリストにない場合は、直接入力することもできます。

何を入力すればよいかわからない場合は、周波数申請受付にご相談ください。

無線局免許の取得が必要な無線機器の場合は、無線局免許申請に必要な情報となりますので、スペックシートやデータシート、ユーザーマニュアルなどの資料提出を別途要請させていただきます。

通信方式 (ドロップダウンリストから 選択)	変調方式 (ドロップダウンリストから 選択)	希望受信周波数(MHz) (中心周波数値) *複信方式(Duplex)は記入	受信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帯 幅(kHz)	希望最大送信 出力(W)
			最小周波数値	最大周波数値			

Q19：“チャンネル設定間隔(kHz)”欄

「チャンネル設定間隔(kHz)」欄には何を入力すればよいですか？

A19：

デバイスのスペックシート、データシート、ユーザーマニュアル(取扱説明書)などに入力されている、チャンネル設定間隔や RF チューニングステップサイズの数値(kHz 単位)を入力してください。

何を入力すればよいかわからない場合は、スペックシートやデータシート、ユーザーマニュアルなどの資料をご提出ください。

利用タイプ (ドロップダウンリストから選択)	使用希望 周波数数	希望送信周波数 (MHz) (中心周波数値)	送信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャンネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帶 幅(kHz)	必要なガード バンドサイズ (kHz)	希望最大送信 出力(W)	変調方式 (無線局免許取得済 みの場合は不要)
			最小周波数値	最大周波数値					
可搬(ポータブル)/室内	2	7137, 7189	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)/室内	2	7170, 7181	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)/室内	2	449.625, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)/室内	2	450.325, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]

Q20：“占有周波数帯幅(kHz)”欄

「占有周波数帯幅(kHz)」欄には何を入力すればよいですか？

A20：

デバイスのスペックシート、データシート、ユーザーマニュアル(取扱説明書)などに入力されている、占有周波数帯幅の数値(kHz 単位)を入力してください。

何を入力すればよいかわからない場合は、スペックシートやデータシート、ユーザーマニュアルなどの資料をご提出ください。

なお、この数値は、販売されている国又は地域によって、規定が異なります。

日本の技術基準の場合は、その上限の周波数をこえて輻射され、及びその下限の周波数未満において輻射される平均電力がそれぞれ与えられた発射によって輻射される全平均電力の〇・五パーセントに等しい上限及び下限となります。(図1 スペクトラムアナライザーの波形を参照)

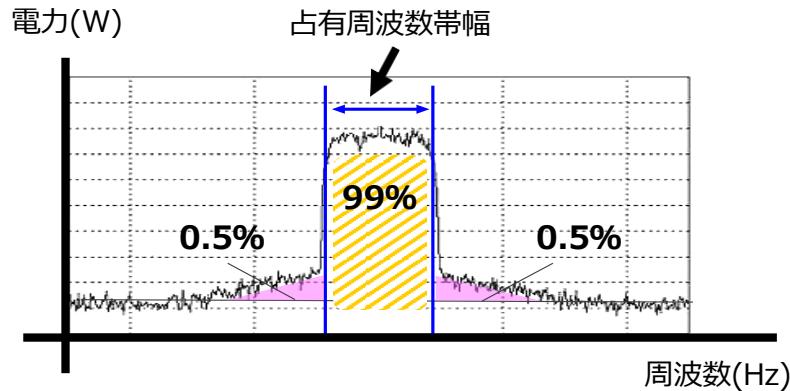


図 1 スペクトラムアナライザーの波形

利用タイプ (ドロップダウンリストから選択)	使用希望 周波数数	希望送信周波数 (MHz) (中心周波数値)	送信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帯 幅(kHz)	必要なガード バンドサイズ (kHz)	希望最大送信 出力(W)	変調方式 (無線局免許取得済 みの場合は不要)
			最小周波数値	最大周波数値					
可搬(ポータブル)／室内	2	7137, 7189	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	7170, 7181	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	449.625, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	450.325, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]

Q21：“必要なガードバンドサイズ”欄

「必要なガードバンドサイズ」欄には、何を入力すればよいですか？

A21：

ワイヤレスカメラなどは、隣接する他の無線システム又はワイヤレスカメラと周波数を離す必要がある場合があります。(離隔周波数)。離す必要がある周波数幅を kHz 単位で入力してください。

利用タイプ (ドロップダウンリストから選択)	使用希望 周波数数	希望送信周波数 (MHz) (中心周波数値)	送信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帯 幅(kHz)	必要なガード バンドサイズ (kHz)	希望最大送信 出力(W)	変調方式 (無線局免許取得済 みの場合は不要)
			最小周波数値	最大周波数値					
可搬(ポータブル)／室内	2	7137, 7189	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	7170, 7181	6,800.000	7,500.000	250.0	10,000	3	0.200	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	449.625, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	450.325, 449.775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重変調[OFDM]

Q22：“希望最大送信出力(W)”欄

「希望最大送信出力(W)」欄には何を入力すればよいですか?

A22:

送信を希望する最大出力をW単位で入力してください。

できるだけ、運用に支障がない範囲で低い出力値になるように考慮してください。

ワイヤレスマイクロフォンなど、システムによっては、送信できる最大出力の上限が決められている場合がありますので、上限値以下で装置が設定できる出力値を入力してください。出力値の上限は、表 3.1 申請対象の無線システムと周波数帯域の最大出力(W)を参照、又は"スペクトラムサービス"欄の選択肢を参考にして入力してください。

利用タイプ (ドロップダウンリストから選択)	使用希望 周波数数	希望送信周波数 (MHz) (中心周波数値)	送信周波数の設定可能範囲(MHz)		チャネル設定 間隔(kHz)	占有周波数帶 幅(kHz)	必要なガード バンドサイズ (kHz)	希望最大送信 出力(W)	変調方式 (無線局免許取得済 みの場合は不要)
			最小周波数値	最大周波数値					
可搬(ポータブル)／室内	2	7137, 7189	6,800,000	7,500,000	250.0	10,000	13	0.200	直交周波数分割多重 調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	7170, 7181	6,800,000	7,500,000	250.0	10,000	13	0.200	直交周波数分割多重 調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	449,625, 449,775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重 調[OFDM]
可搬(ポータブル)／室内	2	450,325, 449,775	0.435	0.470	6.3	13		4.000	直交周波数分割多重 調[OFDM]

Q23：“外部アンテナ”欄

「外部アンテナ」がある申請シートには、何を入力すればよいですか？

A23 :

外部アンテナを接続して使用する場合に入力していただきます。

内蔵アンテナを使用している無線機器は、入力する必要がありません。

Q24：“外部アンテナ”“種類”欄
 「外部アンテナ」の「種類」欄には何を入力すればよいですか？

A24：

アンテナタイプをドロップダウンリストから選択してください。(ドロップダウンリストに該当するタイプが無い場合は、直接入力することもできます。)

良くわからない場合は、空欄でもかまいませんが、必ず銘板の写真又は機種名と型番が入力されている部分の写真又はユーザーズガイドなどの製品仕様が示されている資料を添付してご提出ください。

外部アンテナ				日本の無線局免許 取得有無	技適マーク
製造会社	モデル名 型番	種類 (ドロップダウンリストから選択)	ゲイン [dBi]	無線局免許取得 済みの場合は、 ✓ を選択	技適マークが無線 機についている場 合は、✓ を選択
VISLINK	L3435	その他無指向性アンテナ[ZO]	3.0		
VISLINK	L3435	その他無指向性アンテナ[ZO]	3.0		
Mobile Mark	PSTG2-433T	その他無指向性アンテナ[ZO]	2.0		
Mobile Mark	PSTG2-433T	その他無指向性アンテナ[ZO]	2.0		

Q25：“外部アンテナ”“ゲイン”欄
 「外部アンテナ」「ゲイン」欄には何を入力すればよいですか？

A25：

外部アンテナを接続して使用する場合には、アンテナの性能を表すアンテナゲイン(利得)を dBi 単位で入力してください。

良くわからない場合は、空欄でもかまいませんが、必ず銘板の写真又は機種名と型番が入力されている部分の写真又はユーザーズガイドなどの製品仕様が示されている資料を添付してご提出ください。

外部アンテナ				日本の無線局免許 取得有無	技適マーク
製造会社	モデル名 型番	種類 (ドロップダウンリストから選択)	ゲイン [dBi]	無線局免許取得 済みの場合は、 ✓ を選択	技適マークが無線 機についている場 合は、✓ を選択
VISLINK	L3435	その他無指向性アンテナ[ZO]	3.0		
VISLINK	L3435	その他無指向性アンテナ[ZO]	3.0		
Mobile Mark	PSTG2-433T	その他無指向性アンテナ[ZO]	2.0		
Mobile Mark	PSTG2-433T	その他無指向性アンテナ[ZO]	2.0		

Q26：“希望チャネル”欄

Type C シート「希望チャネル」欄には何を入力すればよいですか？

A26：

ドロップダウンリストから無線 LAN の周波数帯を示す記号を選択してください。選択するチャネルによっては、屋外利用ができないものもあります。

利用タイプ (ドロップダウンリストから選択)	希望チャネル (ドロップダウンリストから選択)	周波数帯幅(kHz) (ドロップダウンリストから選択)	規格 (ドロップダウンリストから選択)	希望最大送信出力(W) (less than 10mW/1MHz)	Applicant's Remarks (備考)
屋外固定設置(据え置き)	W52	20000	IEEE802.11ac	0.200	

Q27：“規格”欄

Type C シートの「規格」欄には何を入力すればよいですか？

A27：

ドロップダウンリストから使用する無線 LAN 規格のうち最上位規格を選択してください。

利用タイプ (ドロップダウンリストから選択)	希望チャネル (ドロップダウンリストから選択)	周波数帯幅(kHz) (ドロップダウンリストから選択)	規格 (ドロップダウンリストから選択)	希望最大送信出力(W) (less than 10mW/1MHz)	Applicant's Remarks (備考)
屋外固定設置(据え置き)	W52	20000	IEEE802.11ac	0.200	

Q28：日本の無線免許所有装置の周波数申請

日本の無線局免許を所有している装置も周波数申請が必要ですか？

A28：

会場で無線機器を使用するには、既に日本の無線免許をお持ちの方でも、AINAGOC の許可が必要です。

申請対象の会場は、Q7:「使用場所」、「複数会場使用」欄をご参照ください。

Q29：“日本の無線局免許取得有無”欄

「無線局免許取得有無」欄の選択はどのように考えれば良いですか？

A29：

日本の無線局免許を既に取得済みの場合は、”✓”を選択してください。

また、「Applicant's Remarks(備考)」に免許番号を入力してください。

なお、簡易無線の登録局の場合は、”✓”は選択せずに、「Applicant's Remarks(備考)」に登録番号を入力してください。

外部アンテナ				日本の無線局免許 取得有無	技適マーク
製造会社	モデル名 型番	種類 (ドロップダウンリストから選択)	ゲイン [dBm]	無線局免許取得 済みの場合は、 ✓ を選択	技適マークが無線 機についている場 合は、✓ を選択
VISLINK	L3435	その他無指向性アンテナ[ZO]	3.0		
VISLINK	L3435	その他無指向性アンテナ[ZO]	3.0		
Mobile Mark	PSTG2-433T	その他無指向性アンテナ[ZO]	2.0		
Mobile Mark	PSTG2-433T	その他無指向性アンテナ[ZO]	2.0		

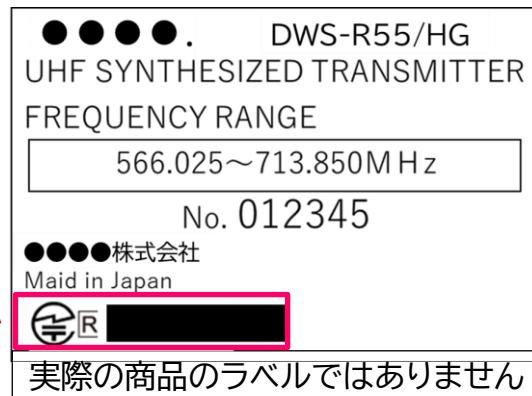
Q30：“技適マーク ”欄

どのような場合に「技適マーク」欄を入力すれば良いですか？

A30：

日本の技術基準適合証明を取得済みの無線機器には、銘板等に無線機器が日本の電波法に定められた技術基準に適合していることを証明する技適マーク()が表示されています、表示がある場合は、場合は、”✓”を選択してください。

また、「Applicant's Remarks(備考)」に技術基準適合証明等の番号を入力してください。技術適合証明等の内容は、Q31 を参照ください。



外部アンテナ				日本の無線局免許取得有無	技適マーク
製造会社	モデル名 型番	種類 (ドロップダウンリストから選択)	ゲイン [dBm]	無線局免許取得済みの場合は、 ✓ を選択	技適マークが無線機についている場合は、✓ を選択
VISLINK	L3435	その他無指向性アンテナ[ZO]	3.0		
VISLINK	L3435	その他無指向性アンテナ[ZO]	3.0		
Mobile Mark	PSTG2-433T	その他無指向性アンテナ[ZO]	2.0		
Mobile Mark	PSTG2-433T	その他無指向性アンテナ[ZO]	2.0		

Q31 : 技術基準適合証明制度

技術基準適合証明制度とは何ですか？

A31 :

無線通信の混信や妨害を防ぐとともに、有効希少な資源である電波の効率的な利用を確保するため、日本では無線局の開設は原則として免許制としており、当該無線局で使用する無線機器が技術基準に適合していることを免許申請の手続きの際に検査を行うこととなっています。事前に電波法に基づく基準認証を受け、総務省令で定める表示(技適マーク())が付されている場合には、免許手続き時の検査省略など無線局開設のための手続について特例措置が受けられます。

なお、他国の制度において、他国の技術基準に適合していることの証明を得ていても、日本国の技術基準に対する適合証明等が得られていない場合は、日本国内では使えません。

Q32 : “Technical Conformity Mark :技適マーク()”

技適マーク()とは、どのようなものですか？

A32 :

技適マークは、電波法令で定めている技術基準に適合している無線機であることを証明するマークで、個々の無線機に付けられています。

外国製無線機(トランシーバー)の場合でも、日本国内で使用できる機種は、殆どのものに技適マークが付いています。

技適マークが付いていると、無線局免許の取得が簡易な手続きになる場合や、無線局免許の取得が不要になる場合があります。

Q33 : 技適マーク()の場所

技適マーク()は、どこについているのですか？

A33 :

多くの場合、無線機の型式名称や製造者が入力された銘板の中に表示されています。

装置の外部に銘板が無い場合は、内蔵バッテリーを取り外すことができるハンドヘルドトランシーバーやワイヤレスマイクなどは、内蔵バッテリーを取り外すと銘板が貼られている場合があります。また、表示装置がある場合は、操作により画面に表示するものもあります。個別の表示場所は機種の取扱説明書等をご確認ください。

Q34 : “Applicant’ s Remarks(備考)”

「Applicant’ s Remarks(備考)」欄には何を入力すればよいですか？

A34 :

日本の無線局免許番号や登録番号「Q29:無線局免許取得有無」、技術基準適合証明等の番号「Q30:技適マーク」の他、周波数申請時に連絡したい事項や特記事項がありましたらご入力ください。

3.3 無線機器

● ハンドヘルドラジオ

Q35 : 海外仕様のハンドヘルドラジオ[HR])

ハンドヘルドラジオ(トランシーバー)の使用に制限はありますか?

A35 :

ハンドヘルドラジオ(トランシーバー)は、技適マーク(□)が付いていない製品は、そのままでは日本国内で使用することができません。日本国内で使用するためには、無線局免許の取得が必要となるため、通常申請(Normal Application)期間内に周波数申請を完了する必要があります。また、指定される特定の周波数のみを発射できる設定ができない場合や日本の技術基準に適合していないものは、無線局免許の取得ができません。外国規格のトランシーバーには、FRS(Family Radio Service)、GMRS(General Mobile Radio Service)、PMR446(Private Mobile Radio, 446 MHz)、UHF-CB (UHF-Citizen's Band Radio)、PRS (Personal Radio Service)などで日本での無線局免許申請に適しない装置などがありますが、この製品を日本国内で使用することはできません。

そのため、デバイスの使用が許可されなかったり、最初に適用したものと異なる周波数が割当てられたりする場合があります。

なお、技適マーク(□)が付いていても、無線局免許の取得や登録が必要な製品がありますので、早めにお問い合わせください。

設定できる周波数を明確にするために、デバイスの銘板の写真、ユーザーガイド又はデータシートを添付して、周波数を申請してください。

使用を許可された周波数が設定されていないと検査に不合格となり、大会期間中は使用できなくなるため、許可周波数が正しく設定できているか事前にご確認ください。

日本国内で使用が認められている簡易無線(免許・登録)、特定小電力無線は、同じ周波数を共有しているため、干渉が許される条件で許可されています。

可能であれば、日本国内で使用が認められているトランシーバーをレンタル又は購入することや、スマートフォンをIP無線機として使用できるアプリケーションを使用することをお勧めします。

IP無線機の場合、周波数の利用に制限はありませんが、未承認の無線機器と

判別するため、「承認ステッカー(Tag)」をもらって端末に貼付する必要があります。そのため、周波数申請(Tag sheet)が必要です。

PHS(デジタルコードレス電話)は、DECT 方式のトークバックに干渉を与えるため、使用できません。

● DECT デバイス

Q36 : 海外仕様の DECT デバイス

海外仕様(EU、米国など)の DECT 機器は使用できますか？

A36 :

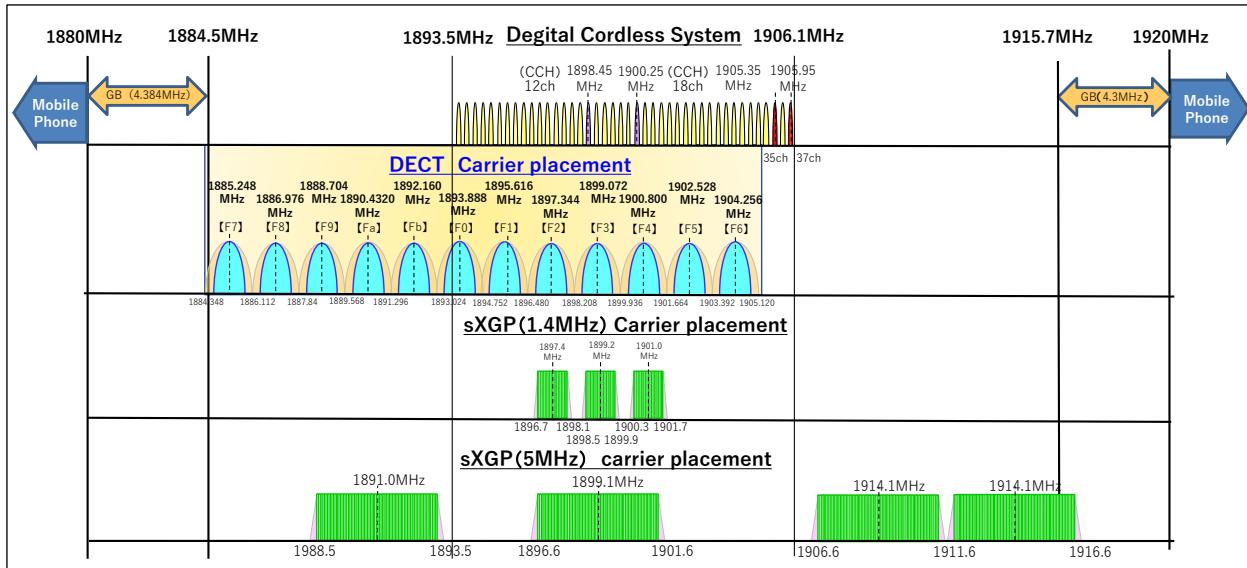
海外仕様の DECT 機器は、日本仕様とは異なる周波数(J-DECT と呼んでいます)を使用し、必要な機能を搭載していないため、無線局免許の取得ができません。このため日本国内では使用できません。

周波数を申請できる機器は、J-DECT 規格(ARIB STD-T101 時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備)に準拠し、日本の技術基準適合認証を確認する無線機器として認定を受ける必要があります。

Applicant's Remarks(備考)には、認証番号(通常は機器の技術基準適合証明など、技適マーク(マーク)の右側に表示されている)入力するか、認証番号の写真(を添付することをお勧めします。(「Q32:Technical Conformity Mark:技適マーク」ご参照)

J-DECT 周波数は、使用できる周波数数が限られているため、トークバック以外の装置は原則として使用できません。

また、J-DECT システムは、使用されていない周波数のなかで自動的に周波数を選択して使用するため、あらかじめ周波数を指定することができません。



周波数帯域	国と詳細
1880 – 1900 MHz	ヨーロッパ、南アフリカ、アジアの大部分、香港、オーストラリア、ニュージーランド(10 チャンネル)
1786 – 1792 MHz	韓国(3 チャンネルのみ)
1880 – 1895 MHz	台湾(8 チャンネル)
1884 – 1906 MHz	日本(J-DECT)(12 チャンネル) 他システムと共に利用 キャリアセンス機能が必要(デジタルコードレス電話の検出)
1910 – 1920 MHz	ブラジル(10 チャンネル)
1910 – 1930 MHz	ブラジルを除くラテンアメリカの大部分
1920 – 1930 MHz	米国とカナダ

● ワイヤレスマイク

Q37 : TV ホワイトスペース帯のワイヤレスマイク

ワイヤレスマイクはどのチャンネルの TV 周波数に申し込むことができますか？

A37 :

各会場のワイヤレスマイクに適用される TV ホワイトスペース帯の周波数チャンネルについては、以下をご覧ください。各列の値は、使用可能な周波数範囲(MHz)を示しています。

周波数範囲(MHz)は、中心周波数の範囲ではなく、占有周波数帯幅の範囲を示しています。

周波数範囲(MHz)は、アナログマイクが使用される場合の相互変調影響を低減するためや、近隣会場との混信影響の低減のため、使用を許可しない周波数範囲が発生する可能性があります。

会場名の下に入力している「(屋内)」、「(屋外)」の表記は、会場内の使用場所の条件になります。「(屋外)」は、屋内での使用も含みます。

マラソンコース、競歩コースで使用される場合は、Q38:マラソンコース、競歩コースでの使用をご参照ください。

周波数が入力されていないチャンネルは、使用することができません。

ライトブルーのハッシュの欄は、未定となっており、改定時に公開予定です。

TV ホワイトスペース帯のワイヤレスマイクを利用する場合は、無線局免許が必要となるため、取得していない場合は、通常申請(Normal Application)期間内に周波数申請を完了する必要があります。

また、近隣で使用しているワイヤレスマイクとの運用調整を行いますので、ご希望の周波数を使用できない場合があります。

会場リスト

1	[TAC]Tokyo Aquatics Centre	[TAC]東京アクアティクスセンター
2	[HSC]“ToBiO” Furuhashi Hironoshin Memorial Hamamatsu Swimming Centre	[HSC]古橋廣之進記念浜松市総合水泳場[ToBiO]
3	[GEG]Nagoya City General Gymnasium [Rainbow Pool]	[GEG]名古屋市総合体育館[レインボープール]
4	[OCM]Okazaki Chuo Sogo Park Multipurpose Square	[OCM]岡崎中央総合公園多目的広場
5	[MPA]Nagoya City Mizuho Park Athletic Stadium	[MPA]名古屋市瑞穂公園陸上競技場
5	[MPA]Nagoya City Mizuho Park Athletic Stadium	[MPA]名古屋市瑞穂公園陸上競技場(都心コース)
6	[CGC]Circular course around the Aichi Prefectural Government office and the Nagoya City Hall	[CGC]愛知県庁・名古屋市役所周辺コース
7	[IMG]Ichinomiya City Municipal Gymnasium	[IMG]一宮市総合体育館
8	[OCB]Okazaki Chuo Sogo Park Baseball Stadium	[OCB]岡崎中央総合公園野球場
9	[TMB]Toyohashi Municipal Baseball Stadium	[TMB]豊橋市民球場
10	[ASG]Anjo Softball Ground	[ASG]安城市総合運動公園ソフトボール場
11	[AIA]Aichi International Arena(Main Arena)	[AIA]愛知国際アリーナ(メインアリーナ)
12	[KFS]Kinjo Futo Station Square Venue	[KFS]金城ふ頭駅前特設コート
13	[NIS]Nishio Gymnasium	[NIS]西尾市総合体育館
14	[SKE]Aichi Sky Expo	[SKE]愛知県国際展示場[AichiSkyExpo]
14	[SKE-A]Aichi Sky Expo Hall A	[SKE-A]愛知県国際展示場[AichiSkyExpo]ホール A
14	[SKE-B]Aichi Sky Expo Hall B	[SKE-B]愛知県国際展示場[AichiSkyExpo]ホール B
14	[SKE-C]Aichi Sky Expo Hall C	[SKE-C]愛知県国際展示場[AichiSkyExpo]ホール C
14	[SKE-D]Aichi Sky Expo Hall D	[SKE-D]愛知県国際展示場[AichiSkyExpo]ホール D
14	[SKE-E]Aichi Sky Expo Hall E	[SKE-E]愛知県国際展示場[AichiSkyExpo]ホール E

14	[SKE-F]Aichi Sky Expo Hall F	[SKE-F]愛知県国際展示場[AichiSkyExpo]ホール F
15	[MYC]Miyoshi Lake Canoe Course	[MYC]三好池カヌー競技場
16	[YSC]Yahagigawa Canoe Slalom Course	[YSC]矢作川カヌースラロームコース
17	[PMA]Aichi Prefectural Martial Arts Hall(event Hall)	[PMA]愛知県武道館(イベントホール)
18	[ISC]Nagoya City Inae Sports Center	[ISC]名古屋市稻永スポーツセンター
19	[KAP]Korogi Athletic Park	[KAP]愛知県口論義運動公園
20	[IVD]Izu Velodrome	[IVD]伊豆ベロドローム
21	[CCS]Circuit course in Shinshiro City	[CCS]新城市内発着コース
22	[ORP]Obata Ryokuchi Park	[ORP]小幡緑地
23	[VBR]Nagoya Velodrome BMX Race Course	[VBR]名古屋競輪場 BMX レースコース
24	[EQP]Equestrian Park	[EQP]馬事公苑
25	[TOS]TOYOTA STADIUM	[TOS]豊田スタジアム
26	[MSF]Nagoya City Minato Soccer Field	[MSF]名古屋市港サッカー場
27	[WAV]WAVE STADIUM KARIYA	[WAV]ウェーブスタジアム刈谷
28	[MPR]Nagoya City Mizuho Park Rugby Field	[MPR]名古屋市瑞穂公園ラグビー場
29	[GNS]Gifu Nagaragawa Stadium	[GNS]岐阜メモリアルセンター長良川競技場
30	[SSE]Shizuoka Stadium Ecopa	[SSE]小笠山総合運動公園エコパスタジアム
31	[NAG]Nagai Stadium	[NAG]長居陸上競技場
32	[CCE]Kasugai Country Club East Course	[CCE]春日井カントリークラブ東コース
33	[GGH]Nagoya City General Gymnasium [Rainbow Hall]	[GGH]名古屋市総合体育館[レインボーホール]
34	[KCG]Kasugai City Gymnasium	[KCG]春日井市総合体育館
35	[ENT]ENTRIO	[ENT]エントリオ
36	[GPG]Gifu Prefectural Green Stadium	[GPG]岐阜県グリーンスタジアム
37	[TCG]Tokai Citizen Gymnasium	[TCG]東海市民体育館
38	[TYH]Toyohashi Gymnasium	[TYH]豊橋市総合体育館
39	[ASP]Anjo Sports Park	[ASP]安城市総合運動公園
40	[NRC]Nagaragawa International Regatta Course	[NRC]長良川国際レガッタコース

41	[KYH]Kaiyoh Yacht Harbor	[KYH]海陽ヨットハーバー
42	[MPG]Nagoya City Mizuho Park Gymnasium	[MPG]名古屋市瑞穂公園体育館
43	[PGS]Aichi Prefectural General Shooting Gallery	[PGS]愛知県総合射撃場
44	[POM]Nagoya International Exhibition Hall [Portmesse Nagoya]	[POM]名古屋市国際展示場[ポートメッセなごや]
44	[POM-H1]Nagoya International Exhibition Hall [Portmesse Nagoya] Exhibition Hall 1	[POM-H1]名古屋市国際展示場[ポートメッセなごや]第1展示館
45	[KFA]Nagoya Kinjo-Futo Arena	[KFA]名古屋金城ふ頭アリーナ
46	[PLB]Pacific Long Beach (Tahara, Aichi, Japan)	[PLB]田原市赤羽根町大石海岸[太平洋ロングビーチ]
47	[SHT]SKY HALL TOYOTA	[SHT]スカイホール豊田
48	[HPT]Nagoya City Higashiyama Park Tennis Center	[HPT]名古屋市東山公園テニスセンター
49	[GCT]Gamagori City Triathlon Venue	[GCT]蒲郡市内特設コース
50	[OCG]Okazaki Chuo Sogo Park Gymnasium	[OCG]岡崎中央総合公園総合体育館
51	[PKA]Park Arena Komaki(Main Arena)	[PKA]小牧市スポーツ公園総合体育館(メインアリーナ)
52	[HRB]Hekinan Ryokuchi Beach Court	[HRB]碧南緑地ビーチコート
53	[TIC]Nagoya City Trade and Industry Center	[TIC]名古屋市中小企業振興会館
54	[CSC]Cycle Sports Center 5km Circuit Course	[CSC]サイクルスポーツセンター5 キロサーキット
55	[TPM]Nagoya City Tsuruma Park Multipurpose Ground [Terraspo Tsuruma]	[TPM]名古屋市鶴舞公園多目的グラウンド[テラスボ鶴舞]
56	[WAK]WING ARENA KARIYA	[WAK]ウィングアリーナ刈谷
57	[VIL-M]Athletes' Village Nagoya City, Minato ku, Minatomachi	[VIL-M]名古屋市港区港町選手村
58	[VIL-K] Athletes' Village, Kinjo Futo, Minato ku, Nagoya City	[VIL-K]名古屋市港区金城ふ頭選手村
59	[MMC]Nagoya International Exhibition Hall [Portmesse Nagoya] Exhibition Hall 1	[MMC]名古屋市国際展示場[ポートメッセなごや]

(1)-1 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
TAC (屋内)		477- 481								
HSC (屋内)										
GEG (屋内)										
OCM (屋内)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
TAC (屋内)										
HSC (屋内)										
GEG (屋内)										
OCM (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
TAC (屋内)					615- 620	620- 625		633- 637		645- 649
HSC (屋内)										
GEG (屋内)			603- 607		615- 619				639- 643	
OCM (屋内)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
TAC (屋内)										
HSC (屋内)										
GEG (屋内)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710
OCM (屋内)										

(1)-2 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
MPA(屋外)										
CGC(屋外)										
IMG(屋内)										
OCB(屋外)										
チャンネル番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
MPA(屋外)										
CGC(屋外)										
IMG(屋内)										
OCB(屋外)										
チャンネル番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
MPA(屋外)			603-607		615-619				639-643	
CGC(屋外)										
IMG(屋内)			603-607		615-619		627-631			
OCB(屋外)										
チャンネル番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
MPA(屋外)	651-655		663-667		675-679					705-710
CGC(屋外)										
IMG(屋内)										705-710
OCB(屋外)										

(1)-3 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
TMB(屋外)										
ASG(屋外)										
AIA(屋内)			483-488	488-493						
KFS(屋外)										
チャンネル番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
TMB(屋外)										
ASG(屋外)										
AIA(屋内)										
KFS(屋外)										
チャンネル番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
TMB(屋外)										
ASG(屋外)										
AIA(屋内)	591-596	596-602	602-608	608-614	614-620	620-626	626-632	632-638	638-643	
KFS(屋外)										
チャンネル番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
TMB(屋外)										
ASG(屋外)										
AIA(屋内)					675-679					705-710
KFS(屋外)										

(1)-4 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
NIS (屋内)										
SKE (屋外)										
SKE-A (屋内)			483-488	488-493						
SKE-B (屋内)			483-488	488-493						
チャンネル番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
NIS (屋内)										
SKE (屋外)										
SKE-A (屋内)										
SKE-B (屋内)										
チャンネル番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
NIS (屋内)	591-596	596-602	602-608	608-613		621-626	626-632	632-637		645-649
SKE (屋外)				609-613						
SKE-A (屋内)				609-614	614-619				639-643	
SKE-B (屋内)				609-614	614-619				639-643	
チャンネル番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
NIS (屋内)				669-674	674-680	680-686	686-692	692-698	698-704	704-710
SKE (屋外)				669-674	674-679		687-692	692-698	698-704	704-710
SKE-A (屋内)				669-674	674-680	680-686	686-692	692-698	698-704	704-710
SKE-B (屋内)				669-674	674-680	680-686	686-692	692-698	698-704	704-710

(1)-5 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
SKE-C (屋内)			483- 488	488- 493						
SKE-D (屋内)			483- 488	488- 493						
SKE-E (屋内)			483- 488	488- 493						
SKE-F (屋内)			483- 488	488- 493						
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
SKE-C (屋内)										
SKE-D (屋内)										
SKE-E (屋内)										
SKE-F (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
SKE-C (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
SKE-D (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
SKE-E (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
SKE-F (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
SKE-C (屋内)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
SKE-D (屋内)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
SKE-E (屋内)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
SKE-F (屋内)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710

(1)-6 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
MYC (屋内)										
YSC (屋内)										
PMA (屋内)										
ISC (屋内)										
チャンネル番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
MYC (屋内)										
YSC (屋内)										
PMA (屋内)										
ISC (屋内)										
チャンネル番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
MYC (屋内)										
YSC (屋内)										
PMA (屋内)	591-595		603-607		615-619				639-643	
ISC (屋内)										
チャンネル番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
MYC (屋内)										
YSC (屋内)										
PMA (屋内)	651-655		663-667		675-679					705-710
ISC (屋内)										

(1)-7 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
KAP (屋外)										
IVD (屋内)										
CCS (屋外)										
ORP (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
KAP (屋外)										
IVD (屋内)									579- 584	584- 589
CCS (屋外)										
ORP (屋外)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
KAP (屋外)										
IVD (屋内)										
CCS (屋外)										
ORP (屋外)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
KAP (屋外)										
IVD (屋内)						681- 685		693- 697		
CCS (屋外)										
ORP (屋外)										

(1)-8 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
VBR (屋外)										
EQP (屋外)										
TOS (屋外)										
MSF (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
VBR (屋外)										
EQP (屋外)										
TOS (屋外)								573- 577		
MSF (屋外)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
VBR (屋外)										
EQP (屋外)						621- 625				
TOS (屋外)	591- 596	596- 602	602- 608	608- 614	614- 620	620- 626	626- 632	632- 638	638- 644	644- 650
MSF (屋外)					615- 619				639- 643	
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
VBR (屋外)										
EQP (屋外)										
TOS (屋外)	650- 656	656- 662	662- 668	668- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
MSF (屋外)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710

(1)-9 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
WAV (屋外)										
MPR (屋外)										
GNS (屋外)										
SSE (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
WAV (屋外)										
MPR (屋外)										
GNS (屋外)				549- 553						
SSE (屋外)						561- 566	566- 572	572- 577		585- 589
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
WAV (屋外)	591- 596	596- 602	602- 608	608- 614	614- 620	620- 626	626- 632	632- 638	638- 644	644- 650
MPR (屋外)										
GNS (屋外)			603- 608	608- 614	614- 620	620- 626	614- 620	632- 638	638- 643	
SSE (屋外)		597- 601								
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
WAV (屋外)	650- 656	656- 662	662- 668	668- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
MPR (屋外)										
GNS (屋外)	651- 655		663- 667		675- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
SSE (屋外)								693- 698	698- 704	704- 710

(1)-10 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
NAG (屋外)										
CCE (屋外)										
GGH (屋内)										
KCG (屋内)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
NAG (屋外)								573- 577		585- 589
CCE (屋外)										
GGH (屋内)										
KCG (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
NAG (屋外)		597- 601								
CCE (屋外)										
GGH (屋内)	591- 595		603- 608	608- 614	614- 620	620- 625		633- 638	638- 644	644- 650
KCG (屋内)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
NAG (屋外)	651- 655		663- 667				687- 692	692- 697		705- 710
CCE (屋外)										
GGH (屋内)	650- 655		663- 668	668- 674	674- 679					705- 710
KCG (屋内)										

(1)-11 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
ENT(屋内)										
PGP(屋内)										
TCG(屋内)										
TYH(屋内)										
チャンネル番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
ENT(屋内)										
PGP(屋内)										
TCG(屋内)										
TYH(屋内)										
チャンネル番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
ENT(屋内)										
PGP(屋内)										
TCG(屋内)										
TYH(屋内)										
チャンネル番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
ENT(屋内)										
PGP(屋内)										
TCG(屋内)										
TYH(屋内)									699-703	

(1)-12 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
ASP(屋内)										
NRC(屋内)										
KYH(屋外)										
MPG(屋外)										
チャンネル番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
ASP(屋内)										
NRC(屋内)										
KYH(屋外)										
MPG(屋外)										
チャンネル番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
ASP(屋内)										
NRC(屋内)										
KYH(屋外)										
MPG(屋外)										
チャンネル番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
ASP(屋内)										
NRC(屋内)										
KYH(屋外)										
MPG(屋外)										

(1)-13 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
PGS(屋外)										
POM(屋内)										
POM-H1(屋内)										
チャンネル番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
PGS(屋外)										
POM(屋内)										
POM-H1(屋内)										
チャンネル番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
PGS(屋外)										
POM(屋内)										
POM-H1(屋内)	591-595		603-608	608-614	614-620	620-625		633-638	638-643	
チャンネル番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
PGS(屋外)										
POM(屋内)										
POM-H1(屋内)					675-679					705-710

(1)-14 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
KFA(屋内)										
PLB(屋外)										
SHT(屋内)										
HPT(屋外)										
チャンネル番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
KFA(屋内)										
PLB(屋外)										
SHT(屋内)								573-577		
HPT(屋外)										
チャンネル番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
KFA(屋内)					615-619				639-643	
PLB(屋外)										
SHT(屋内)	591-596	596-602	602-608	608-614	614-620	620-626	626-632	632-638	638-644	644-650
HPT(屋外)										
チャンネル番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
KFA(屋内)	651-655		663-667		675-679					705-710
PLB(屋外)										
SHT(屋内)	650-656	656-662	662-668	668-674	674-680	680-686	686-692	692-698	698-704	704-710
HPT(屋外)										

(1)-15 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
GCT (屋外)										
OCG (屋外)										
PKA (屋内)										
HRB (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
GCT (屋外)										
OCG (屋外)										
PKA (屋内)			543- 547							
HRB (屋外)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
GCT (屋外)										
OCG (屋外)	591- 595		603- 608	608- 613						
PKA (屋内)	591- 595		603- 607		615- 619		627- 631			
HRB (屋外)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
GCT (屋外)										
OCG (屋外)				669- 674	674- 680	680- 685			699- 704	704- 710
PKA (屋内)			663- 667							
HRB (屋外)										

(1)-16 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
TIC (屋内)										
CSC (屋外)										
TPM (屋外)										
WAK (屋内)										
チャンネル番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
TIC (屋内)										
CSC (屋外)									579-584	584-589
TPM (屋外)										
WAK (屋内)										
チャンネル番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
TIC (屋内)			603-607		615-619				639-643	
CSC (屋外)										
TPM (屋外)			603-607		615-619				639-643	
WAK (屋内)			603-608	608-614	614-620	620-626	626-632	632-638	638-644	644-650
チャンネル番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
TIC (屋内)	651-655		663-667		675-679					705-710
CSC (屋外)										
TPM (屋外)	651-655		663-667		675-679					705-710
WAK (屋内)	650-656	656-662	662-668	668-674	674-680	680-686	686-692	692-698	698-704	704-710

(1)-17 10mW 以上 50mW 以下(デジタル方式に限る)

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
VIL-M (屋外)										
VIL-K (屋外)										
MMC (屋内)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
VIL-M (屋外)										
VIL-K (屋外)										
MMC (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
VIL-M (屋外)			603- 607		615- 619				639- 643	
VIL-K (屋外)										
MMC (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
VIL-M (屋外)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710
VIL-K (屋外)										
MMC (屋内)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710

(2)-1 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
TAC (屋内)	470- 476	476- 481								
HSC (屋内)										
GEG (屋内)										
OCM (屋内)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
TAC (屋内)										
HSC (屋内)										
GEG (屋内)										
OCM (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
TAC (屋内)			603- 608	608- 614	614- 620	620- 626	626- 632	632- 638	638- 644	644- 650
HSC (屋内)										
GEG (屋内)			603- 607		615- 619				639- 643	
OCM (屋内)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
TAC (屋内)	650- 656	656- 661								
HSC (屋内)										
GEG (屋内)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710
OCM (屋内)										

(2)-2 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
MPA (屋外)										
CGC (屋外)										
IMG (屋内)										
OCB (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
MPA (屋外)										
CGC (屋外)										
IMG (屋内)										
OCB (屋外)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
MPA (屋外)			603- 607		615- 619				639- 643	
CGC (屋外)										
IMG (屋内)	591- 595		603- 607		615- 619		627- 631			
OCB (屋外)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
MPA (屋外)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710
CGC (屋外)										
IMG (屋内)										705- 710
OCB (屋外)										

(2)-3 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
TMB (屋外)										
ASG (屋外)										
AIA (屋内)			483- 488	488- 493						
KFS (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
TMB (屋外)										
ASG (屋外)										
AIA (屋内)										
KFS (屋外)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
TMB (屋外)										
ASG (屋外)										
AIA (屋内)	591- 596	596- 602	602- 608	608- 614	614- 620	620- 626	626- 632	632- 638	638- 643	
KFS (屋外)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
TMB (屋外)										
ASG (屋外)										
AIA (屋内)					675- 679					705- 710
KFS (屋外)										

(2)-4 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
NIS (屋内)										
SKE (屋外)										
SKE-A (屋内)			483- 488	488- 493						
SKE-B (屋内)			483- 488	488- 493						
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
NIS (屋内)										
SKE (屋外)										
SKE-A (屋内)										
SKE-B (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
NIS (屋内)	591- 596	596- 602	602- 608	608- 613		621- 626	626- 632	632- 637		645- 649
SKE (屋外)				609- 613						
SKE-A (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
SKE-B (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
NIS (屋内)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
SKE (屋外)				669- 674	674- 679		687- 692	692- 698	698- 704	704- 710
SKE-A (屋内)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
SKE-B (屋内)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710

(2)-5 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
SKE-C (屋内)			483- 488	488- 493						
SKE-D (屋内)			483- 488	488- 493						
SKE-E (屋内)			483- 488	488- 493						
SKE-F (屋内)			483- 488	488- 493						
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
SKE-C (屋内)										
SKE-D (屋内)										
SKE-E (屋内)										
SKE-F (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
SKE-C (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
SKE-D (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
SKE-E (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
SKE-F (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
SKE-C (屋内)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
SKE-D (屋内)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
SKE-E (屋内)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
SKE-F (屋内)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710

(2)-6 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
MYC (屋内)										
YSC (屋内)										
PMA (屋内)										
ISC (屋内)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
MYC (屋内)										
YSC (屋内)										
PMA (屋内)										
ISC (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
MYC (屋内)										
YSC (屋内)										
PMA (屋内)	597- 595		603- 607		615- 619				639- 643	
ISC (屋内)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
MYC (屋内)										
YSC (屋内)										
PMA (屋内)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710
ISC (屋内)										

(2)-7 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
KAP (屋外)										
IVD (屋内)										
CCS (屋外)										
ORP (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
KAP (屋外)										
IVD (屋内)									579- 584	584- 589
CCS (屋外)										
ORP (屋外)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
KAP (屋外)										
IVD (屋内)										
CCS (屋外)										
ORP (屋外)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
KAP (屋外)										
IVD (屋内)						681- 685		693- 697		
CCS (屋外)										
ORP (屋外)										

(2)-8 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
VBR (屋外)										
EQP (屋外)		477- 481								
TOS (屋外)										
MSF (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
VBR (屋外)										
EQP (屋外)										
TOS (屋外)								567- 571		
MSF (屋外)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
VBR (屋外)										
EQP (屋外)			603- 607		615- 620	620- 625		633- 637		645- 649
TOS (屋外)	591- 596	596- 602	602- 608	608- 614	614- 620	620- 626	626- 632	632- 638	638- 644	644- 650
MSF (屋外)	591- 595		603- 607		615- 619				639- 643	
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
VBR (屋外)										
EQP (屋外)										
TOS (屋外)	650- 656	656- 662	662- 668	668- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
MSF (屋外)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710

(2)-9 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
WAV (屋外)										
MPR (屋外)										
GNS (屋外)										
SSE (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
WAV (屋外)										585- 590
MPR (屋外)										
GNS (屋外)				549- 553						
SSE (屋外)						561- 566	566- 572	572- 577		585- 589
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
WAV (屋外)	590- 596	596- 602	602- 608	608- 614	614- 620	620- 626	626- 632	632- 638	638- 644	644- 650
MPR (屋外)										
GNS (屋外)			603- 608	608- 614	614- 620	620- 626	626- 632	632- 638	638- 643	
SSE (屋外)		597- 601								
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
WAV (屋外)	650- 656	656- 662	662- 668	668- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
MPR (屋外)										
GNS (屋外)	651- 655		663- 667		675- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
SSE (屋外)								693- 698	698- 704	704- 710

(2)-10 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
NAG (屋外)										
CCE (屋外)										
GGH (屋内)		477- 482	482- 488	488- 494	494- 499					
KCG (屋内)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
NAG (屋外)								573- 577		585- 590
CCE (屋外)										
GGH (屋内)							567- 571			
KCG (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
NAG (屋外)	590- 596	596- 602	602- 607		615- 619		627- 631			
CCE (屋外)										
GGH (屋内)	591- 595		603- 608	608- 614	614- 620	620- 625		633- 638	638- 644	644- 650
KCG (屋内)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
NAG (屋外)	651- 655		663- 667		675- 680	680- 686	686- 692	692- 697		705- 710
CCE (屋外)										
GGH (屋内)	650- 655		663- 668	668- 674	674- 679					705- 710
KCG (屋内)										

(2)-11 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
ENT (屋内)										
PGP (屋内)										
TCG (屋内)										
TYH (屋内)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
ENT (屋内)										
PGP (屋内)										
TCG (屋内)										
TYH (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
ENT (屋内)										
PGP (屋内)										
TCG (屋内)										
TYH (屋内)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
ENT (屋内)										
PGP (屋内)										
TCG (屋内)										
TYH (屋内)						681- 685		693- 698	698- 704	704- 710

(2)-12 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
ASP (屋内)										
NRC (屋内)										
KYH (屋外)										
MPG (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
ASP (屋内)										
NRC (屋内)										
KYH (屋外)										
MPG (屋外)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
ASP (屋内)										
NRC (屋内)										
KYH (屋外)										
MPG (屋外)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
ASP (屋内)										
NRC (屋内)										
KYH (屋外)										
MPG (屋外)										

(2)-13 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
PGS (屋外)										
POM (屋内)										
POM-H1 (屋内)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
PGS (屋外)										
POM (屋内)										
POM-H1 (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
PGS (屋外)										
POM (屋内)										
POM-H1 (屋内)	591- 595		603- 608	608- 614	614- 620	620- 625		633- 638	638- 644	644- 649
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
PGS (屋外)										
POM (屋内)										
POM-H1 (屋内)				669- 674	674- 680	680- 685			699- 704	704- 710

(2)-14 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
KFA (屋内)										
PLB (屋外)										
SHT (屋内)										
HPT (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
KFA (屋内)										
PLB (屋外)										
SHT (屋内)								573- 577		
HPT (屋外)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
KFA (屋内)			603- 607		615- 619				639- 643	
PLB (屋外)										
SHT (屋内)	591- 596	596- 602	602- 608	608- 614	614- 620	620- 626	626- 632	632- 638	638- 644	644- 650
HPT (屋外)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
KFA (屋内)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710
PLB (屋外)										
SHT (屋内)	650- 656	656- 662	662- 668	668- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
HPT (屋外)										

(2)-15 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
GCT (屋外)										
OCG (屋外)										
PKA (屋内)										
HRB (屋外)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
GCT (屋外)										
OCG (屋外)										
PKA (屋内)			543- 547							
HRB (屋外)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
GCT (屋外)										
OCG (屋外)	591- 595		603- 608	608- 613				633- 637		
PKA (屋内)	591- 595		603- 607		615- 619		627- 631			
HRB (屋外)										
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
GCT (屋外)										
OCG (屋外)				669- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710
PKA (屋内)			663- 667		675- 679					
HRB (屋外)										

(2)-16 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
TIC (屋内)										
CSC (屋外)										
TPM (屋外)										
WAK (屋内)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
TIC (屋内)										
CSC (屋外)									579- 584- 584	584- 589
TPM (屋外)										
WAK (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
TIC (屋内)	591- 595		603- 607		615- 619				639- 643	
CSC (屋外)										
TPM (屋外)	591- 595		603- 607		615- 619				639- 643	
WAK (屋内)			603- 608	608- 614	614- 620	620- 626	626- 632	632- 638	638- 644	644- 650
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
TIC (屋内)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710
CSC (屋外)										
TPM (屋外)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710
WAK (屋内)	650- 656	656- 662	662- 668	668- 674	674- 680	680- 686	686- 692	692- 698	698- 704	704- 710

(2)-17 10mW 以下

チャンネル 番号	13ch	14ch	15ch	16ch	17ch	18ch	19ch	20ch	21ch	22ch
VIL-M (屋外)										
VIL-K (屋外)										
MMC (屋内)										
チャンネル 番号	23ch	24ch	25ch	26ch	27ch	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch
VIL-M (屋外)										
VIL-K (屋外)										
MMC (屋内)										
チャンネル 番号	33ch	34ch	35ch	36ch	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch
VIL-M (屋外)			603- 607		615- 619				639- 643	
VIL-K (屋外)										
MMC (屋内)				609- 614	614- 619				639- 643	
チャンネル 番号	43ch	44ch	45ch	46ch	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
VIL-M (屋外)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710
VIL-K (屋外)										
MMC (屋内)	651- 655		663- 667		675- 679					705- 710

Q38 : マラソンコース、競歩コースでの使用

マラソンコース、競歩コースでは、どの周波数で申し込むことができますか？

A38 :

技適マーク(マーク)が貼付されている装置であれば無線局免許の取得が不要な800MHz帯(806.125-809.750MHz)のB型ワイヤレスマイク又は無線局免許の取得を要する1.2GHz帯(1240-1260MHz)のA型ワイヤレスマイクをご利用ください。

なお、B型ワイヤレスマイクは、一般の方も使用されていますので、混信を容認の上ご使用ください。A型のワイヤレスマイクは、運用調整が必要ですので、ご希望の周波数での使用ができない場合や、使用許可ができない場合があります。

● ワイヤレスカメラ

Q39 : 申請可能なワイヤレスカメラ

どのようなワイヤレスカメラが申請できますか？

A39 :

技適マークがある携帯電話回線を使用する機器、日本国内の無線局免許を既に所有している機器以外は、原則として使用することができません。

ワイヤレスカメラを使用する必要がある場合は、携帯電話サービスを使用するワイヤレスカメラを準備することをお勧めします。

無線 LAN 周波数を使用するワイヤレスカメラは、競技計時や大会運営に使用する無線 LAN 帯域に影響を与えるため、申請できません。

携帯電話サービスを利用しているもの以外のワイヤレスカメラの使用が必要な場合は、周波数申請受付にご相談ください。使用可能な周波数、出力、帯域幅、帯域外放射などに制限があり、スペクトラム図やスペックシートなどのデータの提出が必要です。また、端末の仕様によっては許可が下りない場合があります。

なお、携帯電話回線を使用する場合の伝送帯域を組織委員会が保証するものではありません。

● 無線 LAN 帯域

Q40 : 無線 LAN(Wi-Fi、Bluetooth)機器の使用

Wi-Fi や Bluetooth などの無線 LAN の帯域を使用した無線機器は、どこでも利用できますか？

A40 :

Wi-Fi 機器は、インフラストラクチャーモード(スレーブモード)の利用のみが許可されます。

アクセスポイント、Point to Point としての使用は、大会運営に支障を与えることから原則禁止とさせていただきます。組織委員会から特別許可が承認された場合のみ、申請を受付けます。

2.4GHz 帯を使用するワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、ワイヤレスヘッドセットで出力 10mW 以下の機器は、周波数申請不要で使用できますが、電波環境が悪いことが想定されますので、有線機器の利用をお勧めします。

Bluetooth 端末の利用は、BLE(Bluetooth Low Energy)規格のワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、ワイヤレスヘッドセット、などは、周波数申請不要で使用できますが、電波環境が悪いことが想定されますので、有線機器の利用をお勧めします。

その他の機器の利用は、周波数申請受付にお問い合わせください。

無線 LAN 機器も日本国内で使用する場合は技適マーク()が付いていない場合は、原則として無線局免許の取得が必要です。

なお、特例として、技適マークが付されていない機器であっても、電波法に定める技術基準に相当する技術基準に適合する等の条件を満たす場合かつ入国の日から 90 日以内に限り、日本国内での利用が可能です。

対象となる無線 LAN 端末等は、日本の技術基準に相当する基準(国際標準)に適合するものであり、かつ、2.4GHz 帯、5.2GHz 帯、5.3GHz 帯、5.6GHz 帯及び 6GHz 帯の周波数を使用する小電力データ通信システム(Wi-Fi 端末及び Bluetooth 端末)について、次の場合が対象となります。

■スマートフォン、タブレット端末、モバイルゲーム機等の Wi-Fi 機能について、Wi-Fi Alliance の認定ロゴ(図1)等により、IEEE 802.11a/b/n/ac/ax/be 規格に合致していることが確認できる無線設備を使って、

- ✓ 公衆無線 LAN スポット(アクセスポイント)に接続する場合
- ✓ 2.4GHz 帯又は 6GHz 帯 VLP モードを使用して、スマートフォン

等のテザリング機能により通信を行う場合

- ✓ 端末同士の直接通信で 2.4GHz 帯又は 6GHz 帯 VLP モードで接続する端末のいずれか片方がスマートフォンの通信を行う場合



図 1:Wi-Fi Alliance 認定ロゴの例

Q41 : Wi-Fi ポリシー

Wi-Fi ポリシーとはどのようなものですか？

A41 :

Wi-Fi ポリシーとは、組織委員会が競技運営、大会運営、大会サービスなどで使用する Wi-Fi チャネルを円滑に運用するために、チャネル毎の利用方針を定めたものになります。

利用可能なチャネル配置は、後日公開します。

Q42 : 電波を発射しないモバイルルーターの利用

Wi-Fi を停止して、電波を発射しないモバイルルーターは利用できますか？

A42 :

原則としてモバイルルーターの利用はできません。組織委員会から特別許可が承認された場合のみ、申請を受付けます。

申請は、Tag シート(Tag-MR)に入力してください。

● ドローン

Q43 : ドローンの利用

ドローンの利用は、どのように申請すれば良いですか？

A43 :

原則、ドローンの利用は申請できません。

詳細は、周波数申請受付にお問い合わせください。

● ワイヤレスレリーズトリガー,ワイヤレスファイル トランスマッター

Q44 : ワイヤレスレリーズトリガーの利用

ワイヤレスレリーズトリガーは、どのようなものが申請できますか？

A44 :

ワイヤレスレリーズトリガーの利用は、メディア以外は原則申請できません。

Wi-Fi 帯域を使用するワイヤレスレリーズトリガーは、使用することができます。

344.04MHz を使用する Pocketwizard の FCC モデルのみ周波数申請することができます。無線局免許の取得が必要ですので、周波数申請は、通常申請期間に限ります。

● RFID 帯

Q45 : RFID 帯(920MHz)を使用する無線機器

RFID 帯を利用した無線機器の申し込み方法を教えてください。

A45 :

RFID 帯域(915 MHz~930 MHz)を使用する無線機器は、技適マークがあり無線局免許が不要な機器、日本の無線局免許を取得している機器以外は、許可されません。

海外の RFID 機器は、周波数が異なる場合や技術基準が異なるため、日本国内では使用できません。

3.4 周波数申請期間

Q46 : 通常申請(Normal Application)期間

通常申請(Normal Application)期間を過ぎると申請できなくなる無線機器はありますか？

A46 :

日本の無線局免許の取得が必要な無線機器は、無線局申請に係る申請書類の作成と作成に必要な情報の申請者との確認作業、および総務省による審査に時間を要するため、通常申請(Normal Application)期間内のみの申請となります。

主な無線局免許が必要な機器は、下記を参考にしてください。

- ・ 技術基準適合証明等を受けていない無線機器
- ・ アナログ／デジタル簡易無線(免許局)
- ・ 審判用無線(920MHz 帯)
- ・ アナログ／デジタル A 型ラジオマイク
- ・ FPU／ワイヤレスカメラ(Wi-Fi 方式、携帯キャリア回線利用を除く)
- ・ 固定／移動マイクロ波回線
- ・ ドローンのうち 169MHz 帯、2.4GHz 帯高出力(1W)、5.7GHz 帯
- ・ UWB

Q47 : 追加申請(Additional Application)期間

追加申請(Additional Application)期間ではどのような無線機器の申請ができますか？

A47 :

技術基準適合証明等(技適マーク)を取得している無線機器のうち無線局免許の取得が不要なもの。

なお、通常申請(Normal Application)期間で申請した無線機器に対して既に周波数を割当てていますので、希望の周波数の割当てが出来ない場合や周波数に限りがあることから許可できない場合がありますので、できるだけ通常申請(Normal Application)期間内に申請してください。

Q48 : 緊急申請(Extraordinary Application)期間

緊急申請(Extraordinary Application)期間ではどのような無線機

器の申請ができますか？

A48 :

技術基準適合証明等(技適マーク)を取得している無線機器のうち、無線局免許の取得が不要な無線機器の申請が可能です。なお、日本では無線免許を必要としない無線機器であっても、割当てられる周波数が限られていること、通常申請 (Normal Application)、追加申請 (Additional Application)期間で既に割当てが進んでいますので、割当てができないことからお断りする場合があります。また、割当て可能であっても運用調整や確認が必要なことから、希望する時期までに使用できるようになる保証はありません。無線機器の使用の可能性がある場合は、事前相談を行っていただいた上で、日程に余裕をもった周波数申請とすることをお勧めします。

3.5 周波数申請フォームのファイルの扱い方

Q49 : ファイル名

申請時に周波数申請フォームのファイル名を変更する必要はありますか？

A49 :

ファイル名の先頭に組織名を追加することをお勧めします。

例：

元ファイル名 :AG_Spectrum Application form J-Rev1_0.xlsx

提出ファイル名 :**ABCD**_AG_Spectrum Application form J-Rev1_0.xlsx

※ABCD は、組織名

Q50 : 入力欄

入力欄の変更はできますか？

A50 :

入力欄の項目(列)の変更や削除など構成の変更は禁止とさせていただきます。

Q51 : 入力欄(入力行)

入力欄(入力行)が足りない場合は、どうすればよいですか？

A51 :

入力行が足りない場合は、入力行をコピー＆ペーストして、必要な行を追加してください。